

一般国道497号
(西九州自動車道)

佐々佐世保道路

平成18年9月29日(金)

国土交通省九州地方整備局

1 . 西九州自動車道について	道路-3-1
1) 高規格幹線道路網の経緯	道路-3-1
2) 事業の概要	道路-3-3
3) 事業の必要性	道路-3-4
2 . 佐々佐世保道路の概要	道路-3-8
3 . 事業の必要性	道路-3-9
1) 事業を巡る社会情勢等の変化	道路-3-9
2) 事業の投資効果	道路-3-22
3) 事業の進捗状況	道路-3-24
4 . 事業の進捗の見込み	道路-3-25
5 . コスト縮減や代替え案立案等	道路-3-27
6 . 対応方針（案）	道路-3-28
7 . 関連新聞記事	道路-3-29

巻末資料

1. 西九州自動車道について

1) 高規格幹線道路網の経緯

「第三次全国総合開発計画（昭和52年11月4日閣議決定）」では、全国的な幹線交通体系の長期構想として既定の国土開発幹線自動車道を含め、概ね1万km余りで形成される高規格の幹線道路網の必要性が提唱された。

建設省においても、第9次道路整備五箇年計画期間内（昭和58年度～62年度）に高規格幹線道路網計画を策定すべく鋭意調査を進めてきた。

これらの経緯を踏まえ、昭和62年6月26日道路審議会答申に基づき、6月30日に建設大臣により、従前の国土開発幹線自動車道等（7,600km）及び本州四国連絡道路（180km）並びに、新たな高規格幹線道網を構成する路線6,220kmを合わせ14,000kmの高規格幹線道路網が定められ、西九州自動車道も高規格幹線道路として位置づけられた。

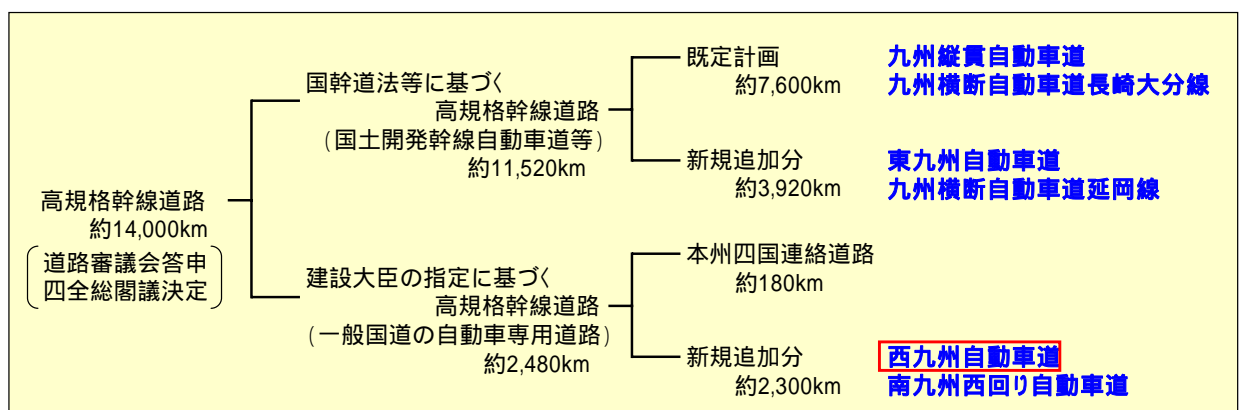
昭和 62 年 6 月 26 日 道路審議会答申

昭和 62 年 6 月 30 日 「第四次全国総合開発計画」閣議決定

～多極分散型国土の形成のため“交流ネットワーク構想”を推進～

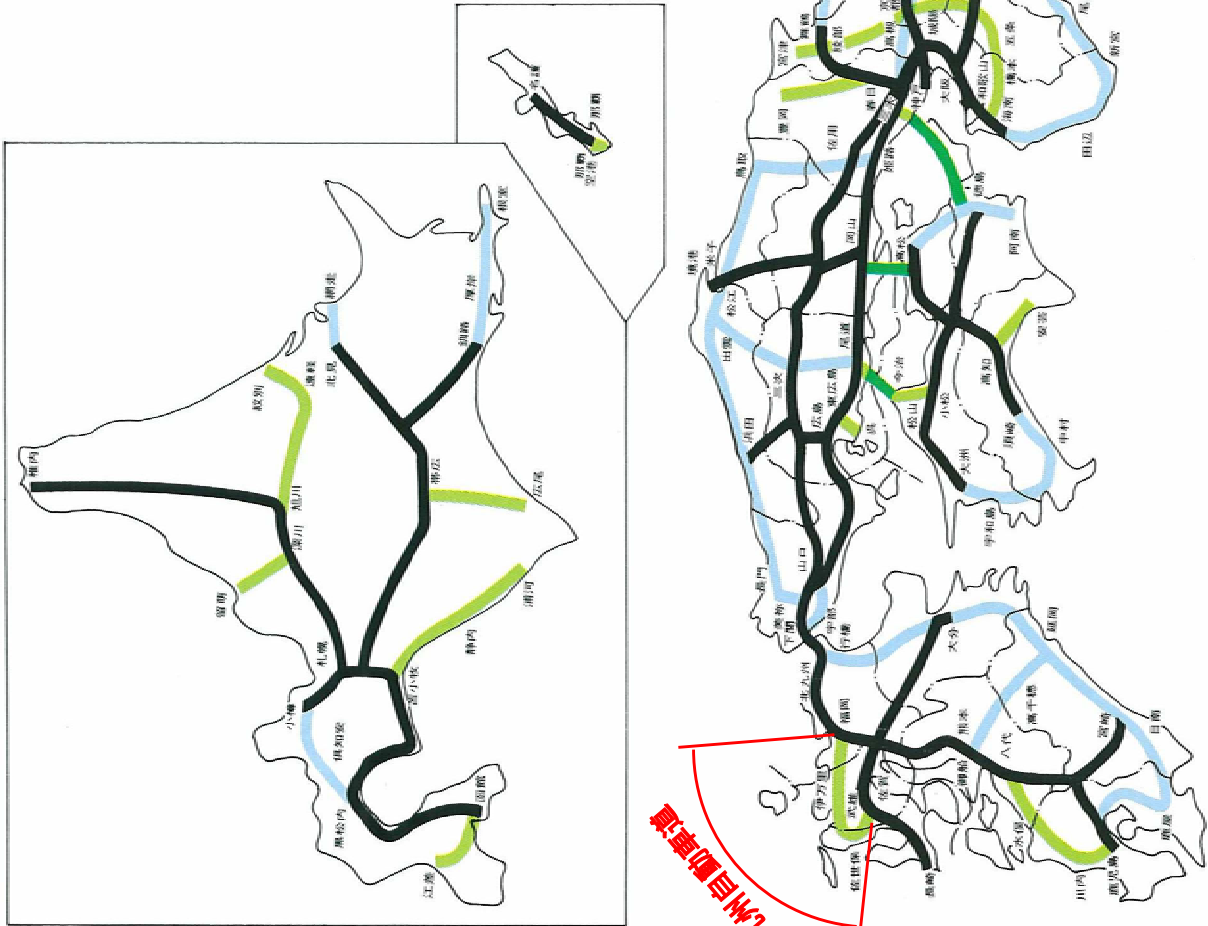
昭和 62 年 6 月 30 日 建設大臣により 14,000km の高規格幹線道路網決定

～高規格幹線道路網として西九州自動車道が位置づけ～



高規格幹線道路網の整備体系

高規格幹線道路網計画図 14,000km



凡 例	
高規格幹線道路	従前の国土開発幹線自動車道等 (7,600km)
追加された高規格幹線道路 (国土開発幹線自動車道追加路線)	本州四国連絡道路 (180km)
追加された高規格幹線道路 (一般国道の自動車専用道路)	追加された高規格幹線道路 (3,920km)
	追加された高規格幹線道路 (2,300km)

2) 事業の概要

西九州自動車道は、福岡県福岡市から佐賀県唐津市、同県伊万里市、長崎県松浦市、同県佐世保市を經由して、佐賀県武雄市に至る延長約150kmの自動車専用道路である。

この内、福重JCT～前原IC間(今宿道路の一部区間)、浜玉IC～唐津IC間(唐津道路の一部区間)、武雄南IC～佐世保みなとIC間(武雄佐世保道路と佐世保道路の一部区間)等約65kmが供用しており、全体延長の43%となっている。また、現在74km(全体延長の49%)が事業中であり、西九州自動車道の約9割が供用もしくは事業中区間となっている。

西九州自動車道 L = 150 km



3) 事業の必要性

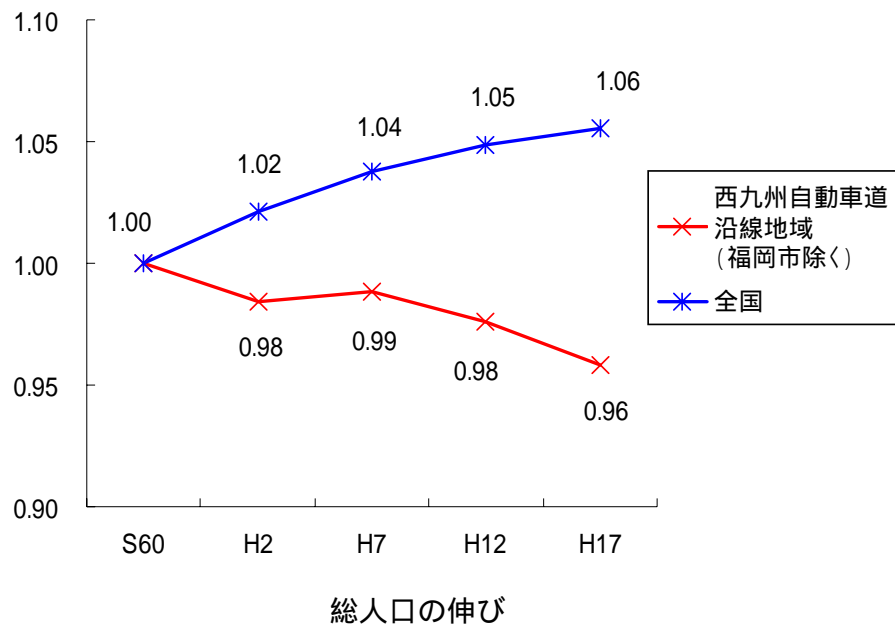
西九州自動車道沿線地域における社会経済情勢の変化

a) 周辺環境の変化

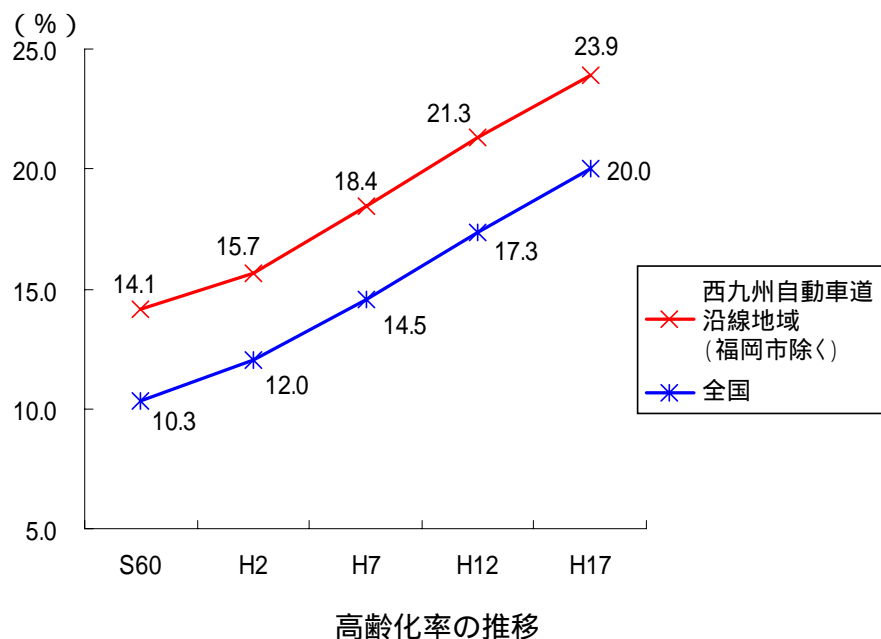
我が国の人口は、高規格幹線道路網の指定が行われた年次（昭和62年）に近い昭和60年以降増加している。一方、福岡市を除く西九州自動車道沿線地域では、昭和60年以降人口は減少しており、昭和60年から平成17年にかけて約4%減少している。

また、福岡市を除く西九州自動車道沿線地域の高齢化率は、昭和60年以降全国平均を4%上回る状態が続いており、全国的に高齢化が進展している地域であるといえる。

このように、西九州自動車道沿線地域は、全国と比べ格差が拡大してきている現状にある。



資料：国勢調査



資料：国勢調査、推計人口

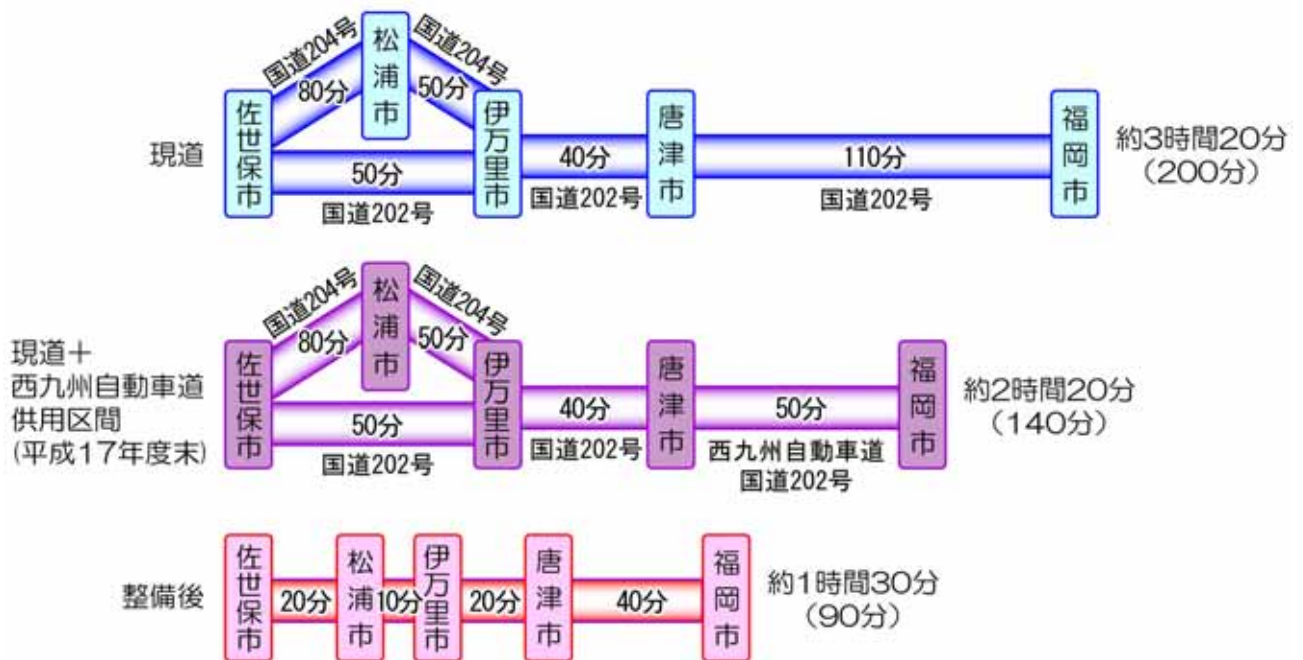
b) 事業の効果・必要性

効果・必要性 1 : 地域間の交流連携の支援

西九州自動車道の整備により、福岡市から佐世保市間の所要時間は、現道利用の 3 時間 20 分 1 時間 30 分へと約 110 分短縮され、地域間の交流連携を支援する。

西九州自動車道沿線には、福岡市、唐津市、伊万里市、松浦市および佐世保市の主要都市が存在しているが、これら都市間の現況所要時間は最低でも40分以上を要し、福岡市～佐世保市間の現道を利用した所要時間は約3時間20分となっている。

西九州自動車道整備により、福岡市～佐世保市間の所要時間は現道利用の約3時間20分 約1時間30分へと約110分短縮され、地域間の交流連携を支援する。



現在：渡辺通りと交差する国道 202 号を起点とし、各都市間は想定しているそれぞれの IC 予定地付近との時間。
整備後：天神北ランプを起点とし、各都市間は各 IC 予定地との時間。1 種 2 級 100km/h、1 種 3 級 80km/h で算出。

西九州自動車道沿線主要都市間の所要時間の変化

資料：H11 道路交通センサス

効果・必要性2：物流の効率化支援

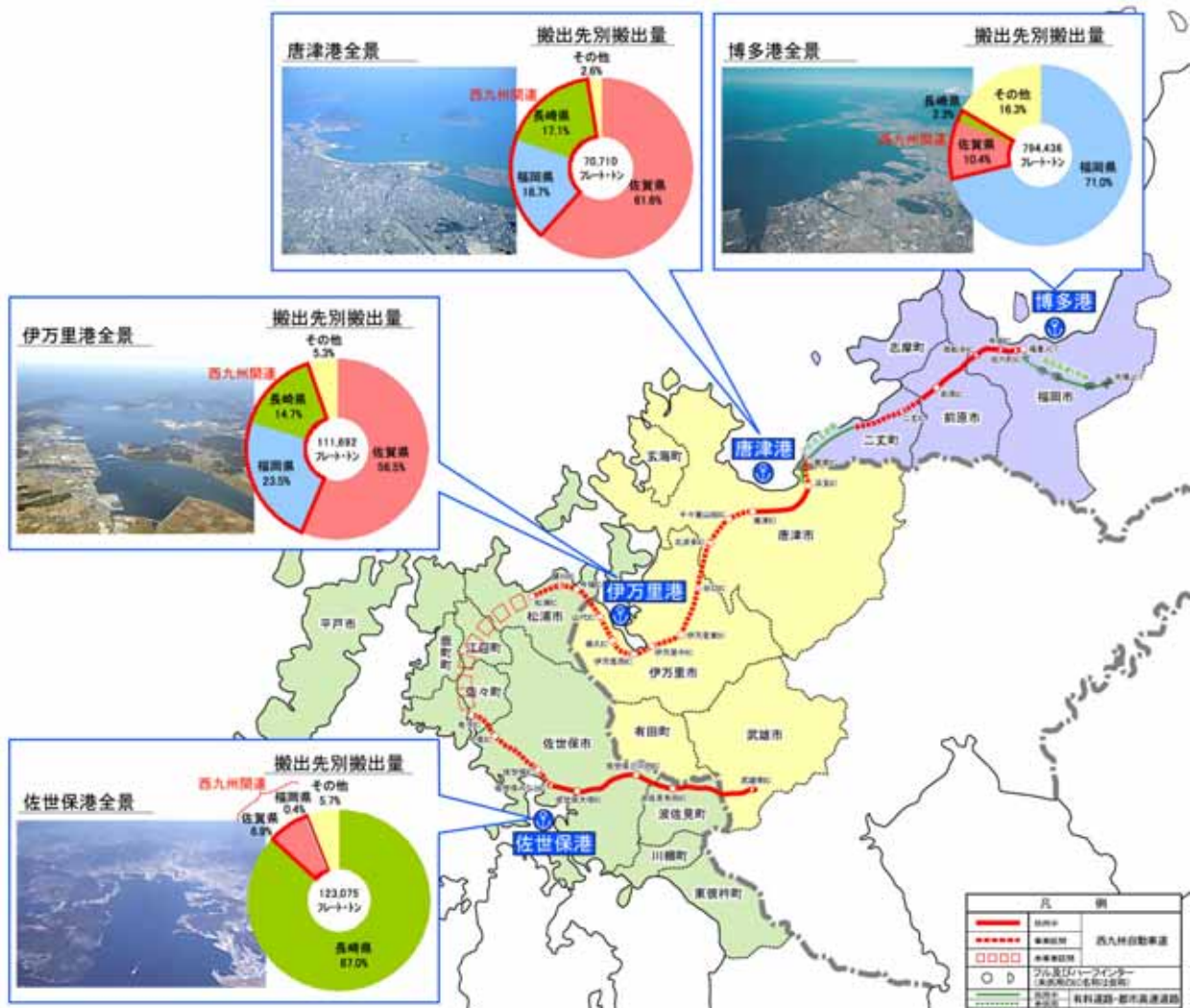
西九州自動車道沿線には、特定重要港湾「博多港」、重要港湾「唐津港・伊万里港・佐世保港」が存在する。これらの港湾で陸揚げされた貨物は、県内のみならず西九州自動車道沿線方向へ搬出され、特に、唐津港・伊万里港における搬出量の約4割は、西九州自動車道沿線への搬出である。

西九州自動車道の整備により、広域的な物流の支援が期待される。

西九州自動車道沿線には、特定重要港湾「博多港」および重要港湾「唐津港・伊万里港・佐世保港」が存在する。

博多港は中枢国際港湾に指定されており、九州一のコンテナ取扱量を誇っている。また、伊万里港は、平成17年、コンテナ取扱量が博多港、北九州港に次ぐ九州3位に躍進しており、西九州自動車道沿線には海外との物流の玄関口となる拠点港湾が連なっている。

港湾で陸揚げされた貨物は、県内のみならず、西九州自動車道沿線方向に搬出され、特に、唐津港・伊万里港搬出量の約4割は、西九州自動車道沿線への搬出となり、西九州自動車道の整備は、これらの広域的な物流の支援が期待される。



西九州自動車道沿線の特定重要港湾・重要港湾

資料：九州地方整備局港湾空港部 HP
平成17年陸上出入貨物調査

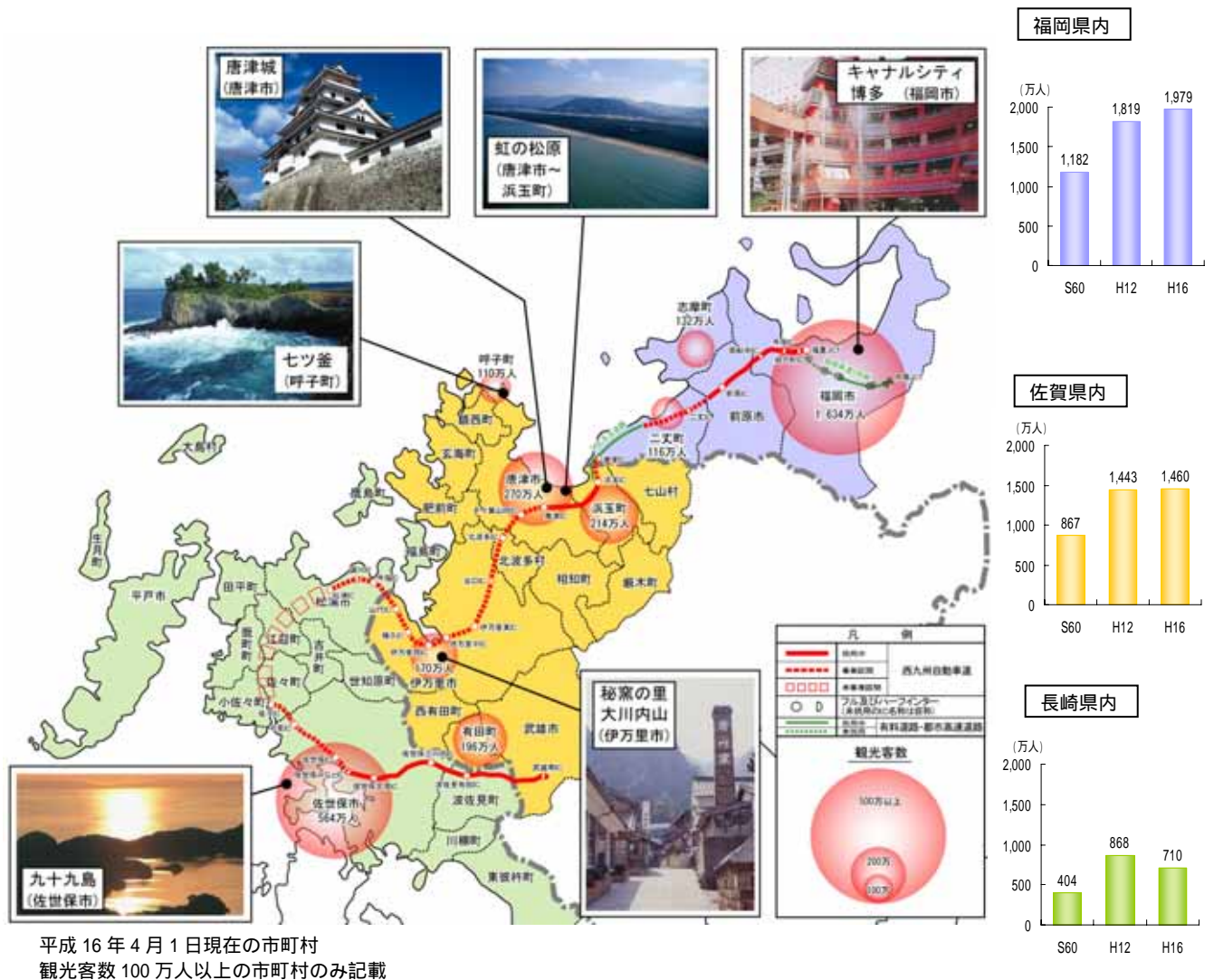
効果・必要性3：活力のある地域づくりの支援

西九州自動車道沿線には、福岡市、唐津市、伊万里市、佐世保市など観光客が100万人を超える市町村が点在しており、昭和60年以降観光客数が増加傾向にある。

西九州自動車道の整備により、九州北西部を連絡する新たな観光ルートが形成されるなど、観光活性化の支援が期待される。

西九州自動車道沿線地域には、福岡市、唐津市、伊万里市、佐世保市など観光客が100万人を超える市町村が点在している。昭和60年以降、福岡県、佐賀県の西九州自動車道沿線地域では観光客数が増加、長崎県の西九州自動車道沿線地域ではS60 H12は増加しているものの、H12 H16は減少している。

西九州自動車道が整備されることにより、沿線の観光拠点間のアクセス性が向上し、九州北西部を連絡する新たな観光ルートが形成されるなど、観光活性化の支援が期待される。



九州自動車道沿線の観光客数の分布(H16)と推移

資料：佐賀県観光客動態調査、長崎県観光統計、福岡県観光入込客推計調査、西九州自動車道パンフレット、唐津道路パンフレット、伊万里市観光協会HP

2. 佐々佐世保道路の概要

1) 概要

佐々佐世保道路は、西九州自動車道を構成する一区間であり、長崎県北部の一般国道204号と並行に位置し、九州北西部の広域的な連携を図り、地域の活性化に大きく寄与するとともに、当該地域の時間短縮、渋滞緩和等を目的とする路線である。

2) 道路諸元

起 点：自) ながさきけんきたまつうらくんさざちよう 長崎県北松浦郡佐々町

終 点：至) ながさきけん さ せ ぼ し や た け ち ょう 長崎県佐世保市矢岳町

延 長：9.0 km

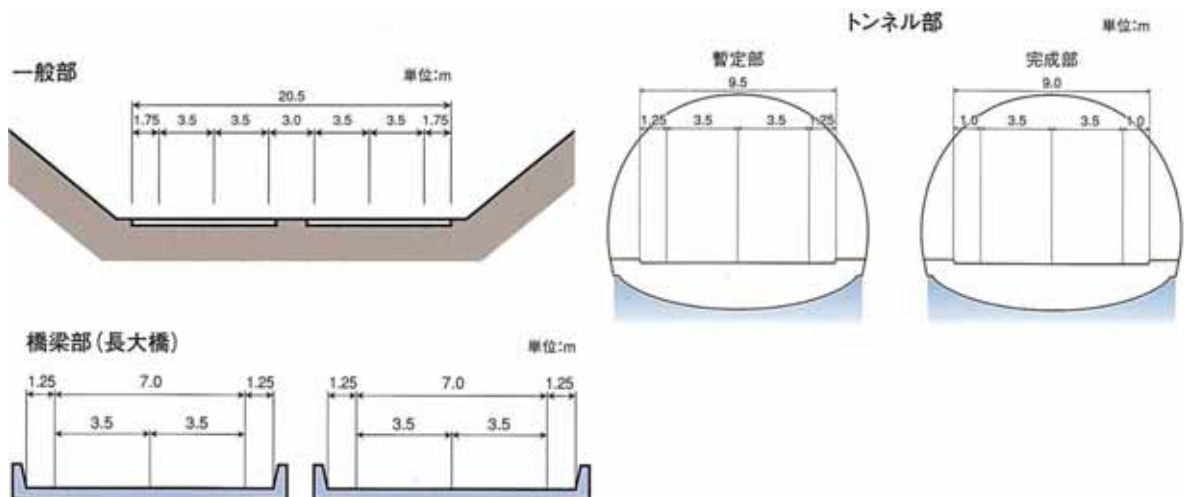
道路規格：1種3級

車 線 数：4車線

設計速度：80 km/h

総 幅 員：20.5 m

3) 標準横断面図



弓張トンネル工事(中里IC側)

	一般有料道路
	一般国道
	一般国道補助
	主要地方道
	一般県道
	町道ほか



3. 事業の必要性

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

都市計画決定時からの周辺環境の変化

a) 地域の概要

佐世保市に隣接する佐々町には、県下最長流の佐々川が北東から南西に貫流し、これに沿って広潤肥沃な平野が開け、佐々町の主たる農耕地帯を形成している。また、海岸線は極めて短いが、佐々町唯一の海の玄関として佐々港が南端にある。大正から昭和にかけては炭鉱が急速に繁栄したが、昭和44年4月までに全て閉山している。現在、第2次産業については、平成10年6月に操業を開始した天然調味料製造業の工場が生産能力増強のための新工場建設に着手し、他の誘致企業とともに一層の雇用の拡大が見込まれ、第3次産業については、以前から大型小売業の進出により小売業は急激な伸びを示し、商業吸引度の拡大が見込まれる地域となっている。

隣接する佐世保市は、佐世保地方生活圏の中心都市機能を担っており、平成18年3月に旧宇久町・旧小佐々町を市町村合併し、県内第二位の人口規模の都市となっている。戦後は平和産業港湾都市として発展し「造船」・「炭鉱」を経て、現在は製造業とともに、県北地域の商業サービス業の中心となっている。

また、西海国立公園やハウステンボス、年々観光客数が増加している西海パールリゾートなどのアメニティリゾートが整備され、毎年多くの観光客を魅了する豊富な観光資源を有する都市となっている。

b) 市町村合併

佐々佐世保道路沿線および周辺市町村においては、平成17年以降に市町村合併が行われ、新佐世保市、新平戸市および新松浦市が誕生している。

【佐世保市の市町村合併】

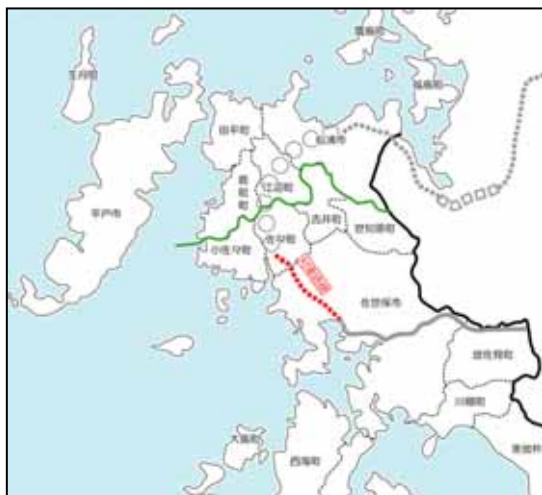
- ・平成17年 4月 1日：旧佐世保市・旧吉井町・旧世知原町の1市2町が合併
- ・平成18年 3月31日：上記佐世保市に、旧宇久町・旧小佐々町の1市2町が合併

【平戸市の市町村合併】

- ・平成17年10月 1日：旧平戸市・旧大島村・旧生月町・旧田平町の1市2町1村が合併

【松浦市の市町村合併】

- ・平成18年 1月 1日：旧松浦市・旧福島町・旧鷹島町の1市2町が合併



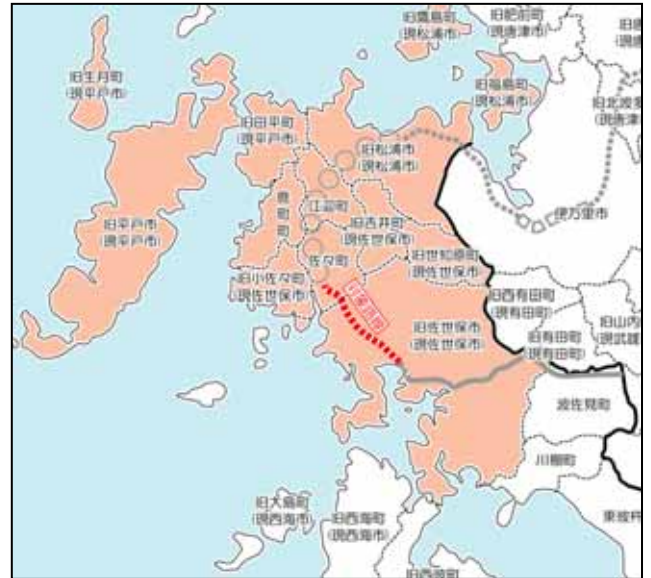
市町村合併前



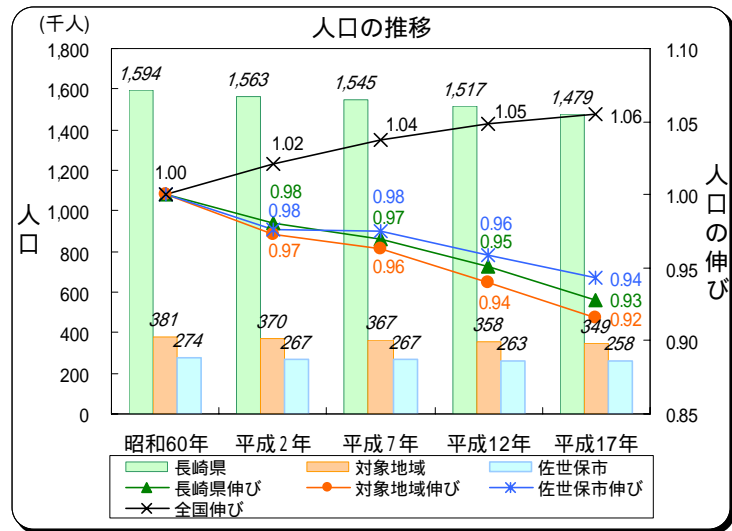
市町村合併後

c) 人口動向

- ・昭和60年から平成17年の人口の伸びをみると、全国では増加傾向であるが、長崎県、対象地域、対象地域中心都市の佐世保市では、年々減少傾向となっている。
- ・長崎県、対象地域、対象地域中心都市の佐世保市の高齢人口は年々増加し、全国平均を上回る高齢化率で推移している。

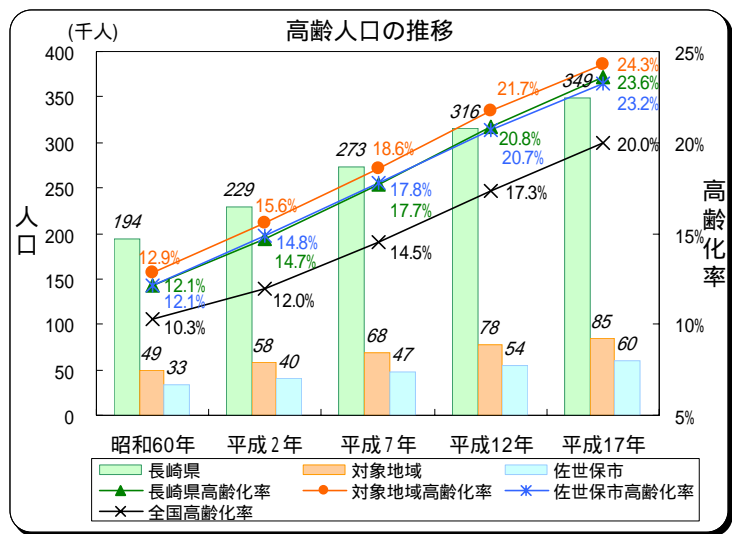


【対象地域】
 佐々佐世保道路の利用可能性がある地域とし、沿線の佐世保市、佐々町及び北松生活圏とした。



人口の推移 (H18.04時点市町村で集計)

資料: 各年国勢調査



高齢人口および高齢化率の推移

(H18.04時点市町村で集計)

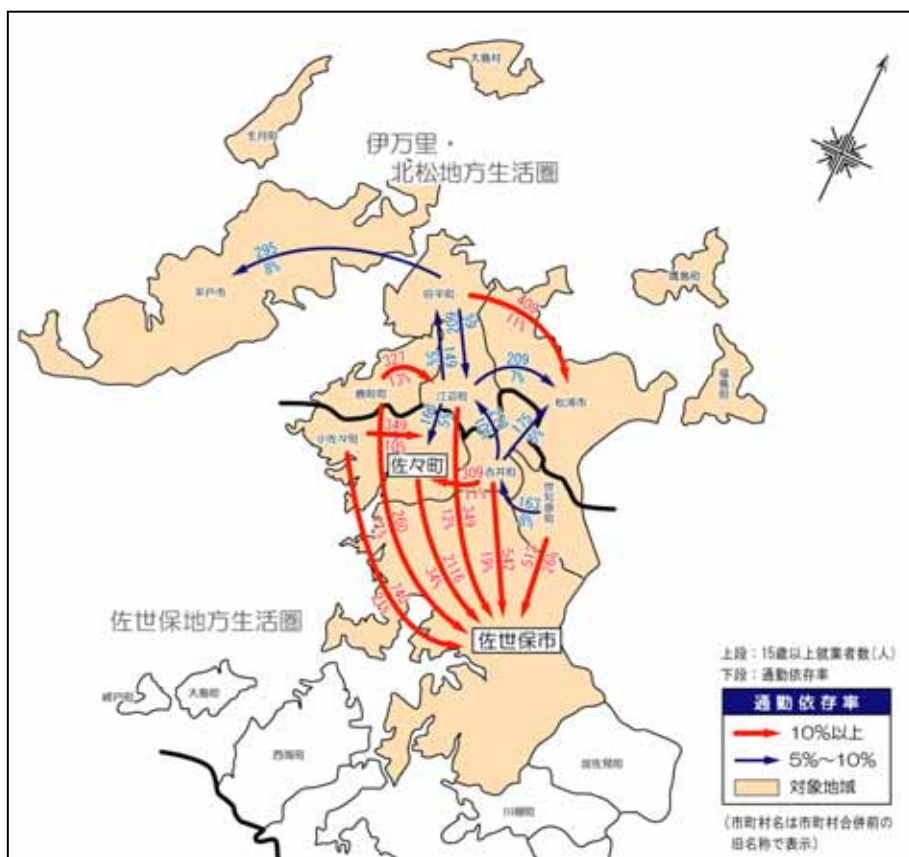
資料: 各年国勢調査・人口推計

d) 中心都市への依存

- ・対象路線の終点部に位置する「佐世保市」は佐世保二次生活圏の中心的都市であり、周辺市町からの通勤や買物等が多く、求心的な通勤圏、買物圏が形成されている。
- ・また、対象路線の起点部に位置する「佐々町」も周辺町からの通勤・買物等が多い。

通勤流動

- ・佐世保市への通勤依存率(自市町村総就業者数に対する佐世保市への通勤者割合)をみると、佐世保市に隣接する対象地域内全ての市町では20%以上となっており、佐世保市への通勤依存が大きい。
- ・対象地域内市町村からの通勤依存が大きい佐世保市への通勤者数は、年々増加傾向となっている。対象路線起点部に位置する佐々町は、佐世保市へ通勤依存率が34%と高い状況にある一方で、隣接する旧吉井町、旧小佐々町、江迎町からの通勤依存率も高く、周辺町からの通勤中心都市ともなっている。



表記市町村名は旧市町村名
(市町村合併前)

旧市町村名 (市町村合併前)	現市町村名 (市町村合併後)
松浦市	松浦市
鷹島町	
福島町	
平戸市	平戸市
生月町	
大島村	
田平町	
佐世保市	佐世保市
小佐々町	
吉井町	
世知原町	
西海町	西海市
西彼町	
大島町	
崎戸町	

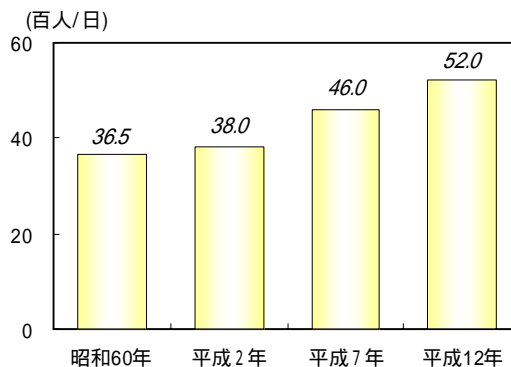
対象地域内市町村の通勤流動・依存率 資料：平成12年国勢調査

【通勤依存率】

自市町村外への通勤者が自市町村総就業者数(自市町村に住んでいる労働者)に占める割合を示す。

例) 佐々町から佐世保市への通勤依存率

「佐々町から佐世保市への通勤者数 2,166 人」
 \div 「佐々町総就業者数 6,316 人」
 = 「通勤依存率 34%」

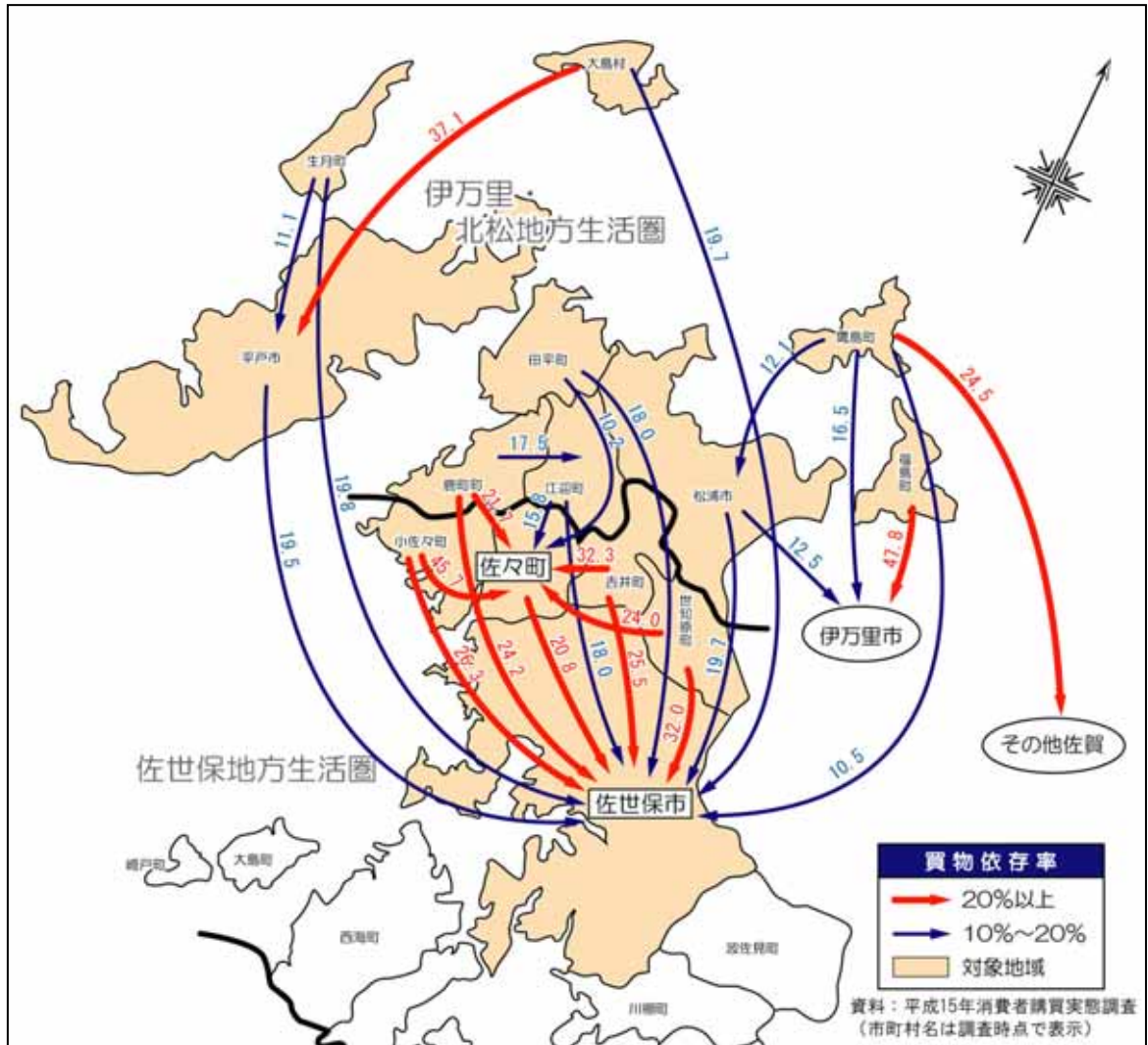


対象地域から佐世保市への通勤者数の推移

資料：平成12年国勢調査

買物流動

- ・通勤流動と同様に、対象地域における「佐世保市及び佐々町」への買物流動（買物依存率）も大きい。（買物流動圏域は通勤流動圏域とほぼ同一の流動圏域となる）



市区町村 (居住地)	買物先				
	自市町村内	佐世保市		合計	
	中心商店街	早岐・大塔地区	その他市内		
佐世保市	92.4		92.4	92.4	
平戸市	58.9		19.5	19.5	
松浦市	53.0	9.7	10.0	19.7	
生月町	50.5	14.3	5.5	19.8	
田平町	39.9		18.0	18.0	
江迎町	47.1		18.0	18.0	
鹿町町	25.3		24.2	24.2	
小佐々町	22.4	12.1	14.2	26.3	
佐々町	72.4		20.8	20.8	
吉井町	30.8		25.5	25.5	
世知原町	28.6	13.9	6.0	12.1	32.0
大島村	29.7	18.2	1.5	19.7	
福島町	38.1		5.8	5.8	
鷹島町	24.3		10.5	10.5	

表記市町村名は旧市町村名
(市町村合併前)

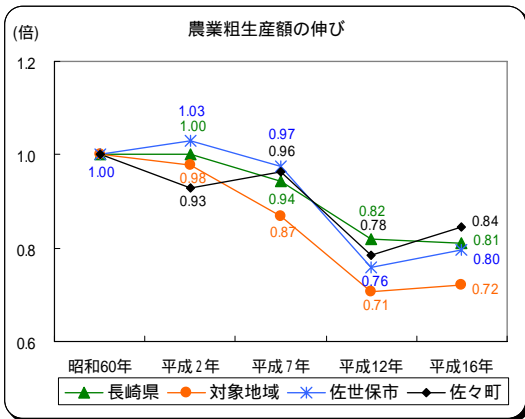
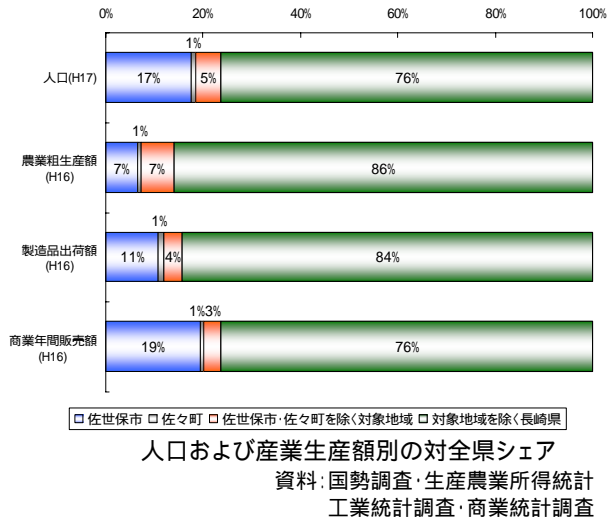
旧市町村名 (市町村合併前)	現市町村名 (市町村合併後)
松浦市	松浦市
鷹島町	
福島町	
平戸市	平戸市
生月町	
大島村	
田平町	
佐世保市	佐世保市
小佐々町	
吉井町	
世知原町	
西海町	西海市
西彼町	
大島町	
崎戸町	

対象地域内市町村の買物流動・依存率

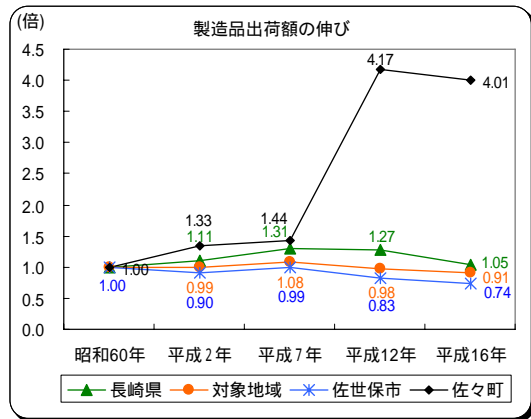
資料：平成15年消費者購買実態調査

e) 産業生産活動の動向

- ・佐世保市、佐々町、佐世保市・佐々町を除く対象地域の各種生産額の全県シェアを人口割合と比較すると、佐世保市は商業年間販売額、佐世保市・佐々町を除く対象地域は農業粗生産額割合が大きく、「佐世保市は商業（周辺市町からの通勤・買物拠点） 周辺市町は農業を主」とする産業生産活動の構造となっている。
- ・佐々町では、昭和60年から平成16年の伸びが製造品出荷額で4倍以上、商業年間販売額で2倍以上と他地域と比較して大きい。これは、工業団地の企業進出・拡大、郊外型商業施設立地等が進んでおり、これらが大きな伸びの要因となっている。



農業粗生産額の伸び（S60に対する伸び）
資料：生産農業所得統計



製造品出荷額の伸び（S60に対する伸び）
資料：工業統計調査

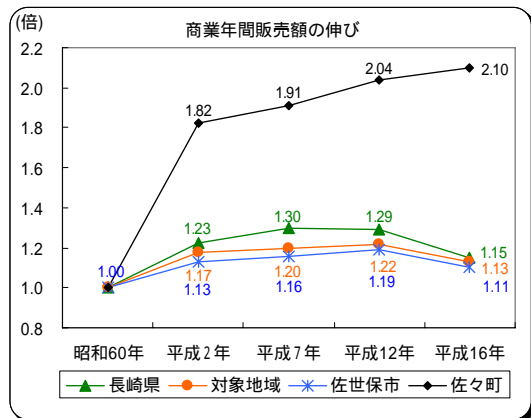
佐々町生産額の伸びについて

【製造品出荷額】

- ・平成12年に、佐々工業団地内に天然調味料製造企業の第二工場が整備され生産開始（3.事業の効果及び必要性の「効果5：地域産業の支援」に詳細を記載）
- ・平成12年以降、佐々町の製造品出荷額は大きく増加

【商業年間販売額】

- ・平成元年に、ショッピングセンターが立地
- ・平成3年以降、佐々町の商業年間販売額は大きく増加

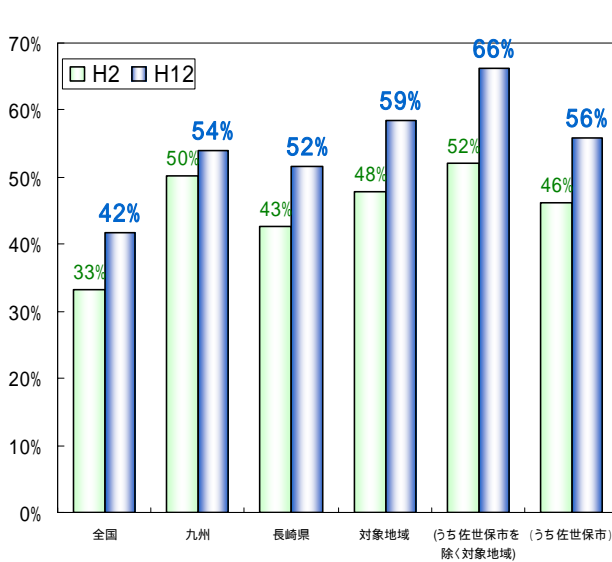


商業年間販売額の伸び（S60に対する伸び）
資料：商業統計調査

f) 交通動向

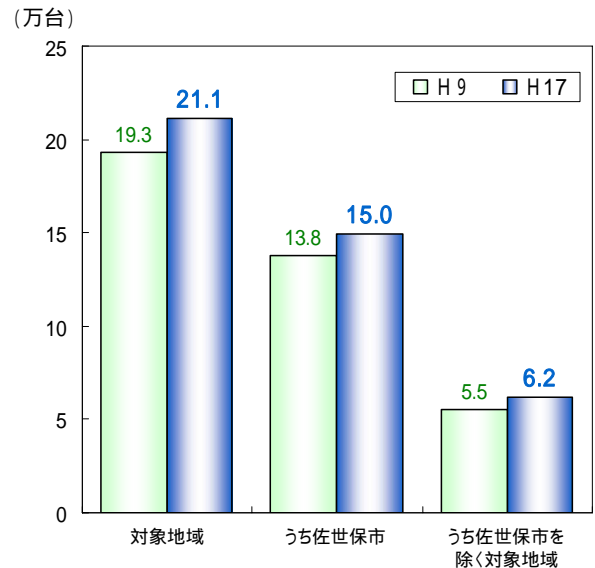
自動車交通への依存率

- ・対象地域の平成12年通勤・通学時の自動車依存率は59%と全国・九州平均より高く、特に佐世保市を除く対象地域(佐世保市以北)では66%と自動車分担率が高い状況となっている。また、平成2年より自動車依存率が対象地域で11ポイント、佐世保市を除く対象地域で14ポイントと大きく増加しており、自動車への依存が高まっている。
- ・自動車保有台数についても、平成9年(都市計画決定)に比べて増加している。



地域別の通勤・通学時自動車依存率の変化

資料：平成2年・12年国勢調査

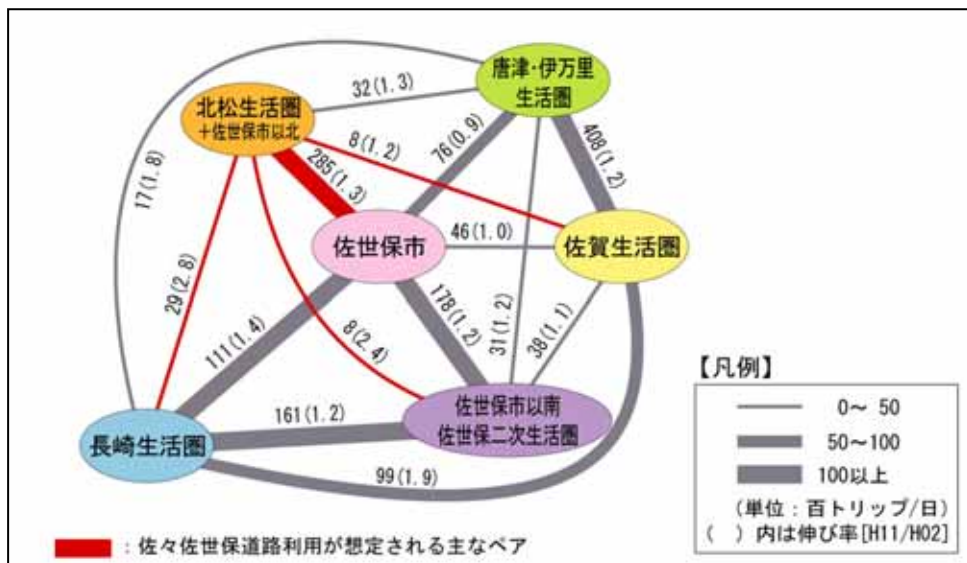


自動車保有台数

資料：自動車保有車両数

中心都市へ集中する交通需要

- ・佐世保市は「佐世保市以南・佐世保二次生活圏」、「長崎生活圏」、「北松生活圏」等との結びつきが大きく、特に、佐々佐世保道路利用が想定される「佐世保市 北松生活圏」の交通需要は、他地域との結びつきと比較して大きい。
- ・また、平成2年と比較すると、佐世保市関連交通需要は増加傾向となっている。



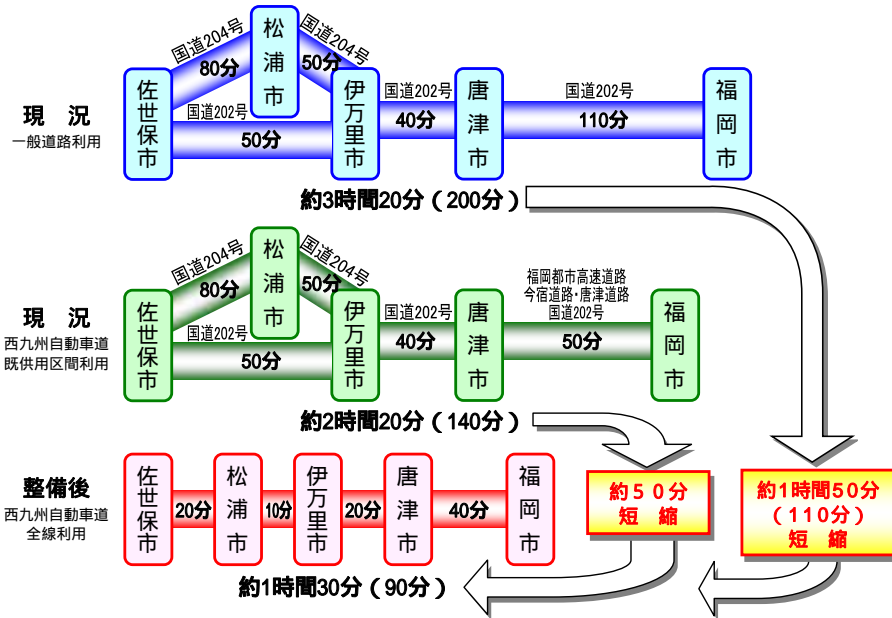
対象地域周辺の交通需要(平成11年)

資料：平成11年道路交通センサス

事業の効果・必要性

効果・必要性 1：地域間の交流連携の支援

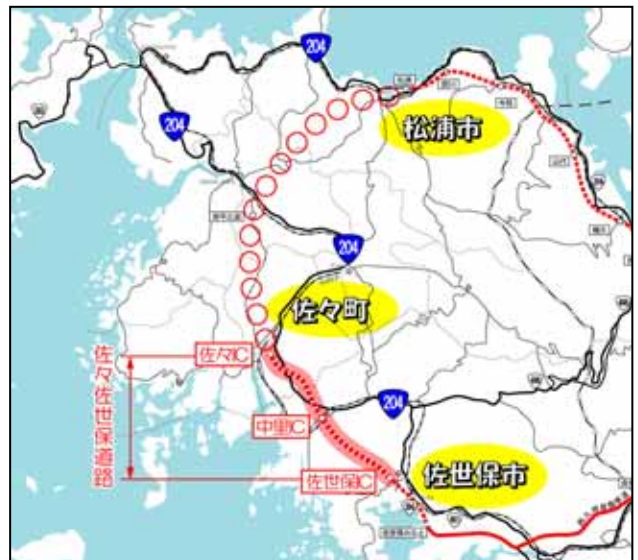
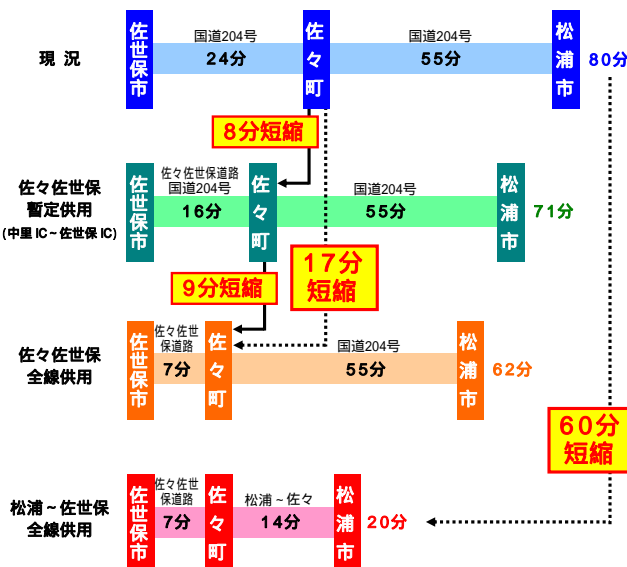
西九州自動車道の整備による時間短縮により、九州における経済の中心である福岡市への日帰りも実現し、産業・経済の発展、観光の振興に寄与する。



現況：渡辺通りと交差する国道202号を起点とし、各都市間は想定しているそれぞれのIC予定地付近との時間。
 (「西九州自動車道既供用区間利用」は、既供用区間の今宿道路・唐津道路を利用)
 整備後：天神北ランプを起点とし、各都市間は各IC予定地との時間。1種2級100km/h、1種3級80km/hで算出。

西九州自動車道整備による主要都市間の所要時間の変化

資料：九州地方整備局データ



資料：九州地方整備局データ

西九州自動車道整備による松浦市～佐々町～佐世保市間の所要時間の変化

- 西九州自動車道の整備により、福岡市～佐世保市間の所要時間は、現況の約半分の90分となる。

「現況 (現道のみ)：約200分・現況 (既供用区間利用)：約165分」

「整備後：約90分 (現況の半分)」

- 佐々佐世保道路の佐々IC～佐世保IC間では、約17分 (約7割) の所要時間短縮となる。

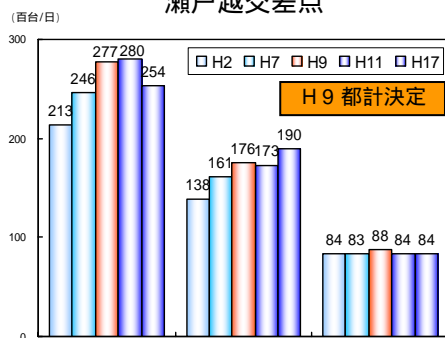
「佐々町～佐世保市：現況24分 暫定供用15分 整備後7分」

効果・必要性 2：交通混雑の緩和

佐々佐世保道路整備により並行する現道の交通が分散され、国道204号の平均交通量が122百台/日（約4割）減少し、平均混雑度は1.33から0.80と低下し、渋滞緩和が見込まれる。



瀬戸越交差点



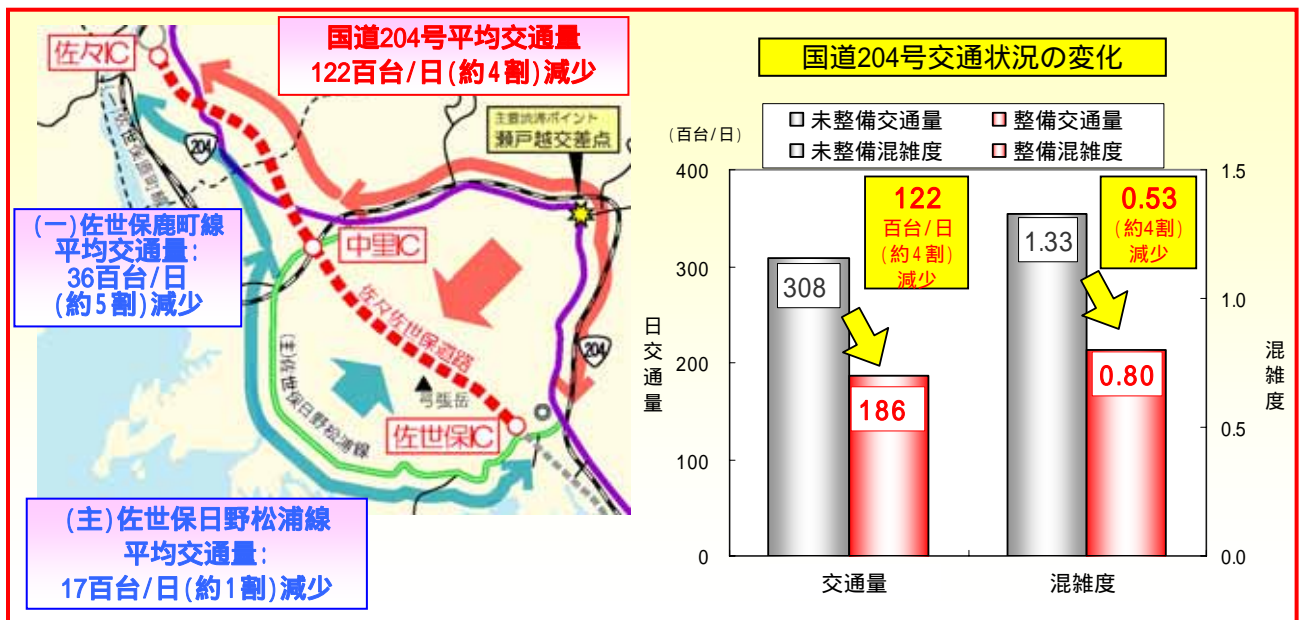
佐々佐世保道路並行現道3路線の平均利用交通量の推移

資料：各年道路交通センサス



混雑度・渋滞ポイント

資料：平成17年道路交通センサス
長崎県新渋滞対策プログラム2005



佐々佐世保道路整備による現道交通状況の変化

- ・佐々佐世保道路に並行する国道204号、及び(主)佐世保日野松浦線では、利用交通量が増加傾向にある。
- ・並行する現道の混雑度は、国道204号で1.37、(主)佐世保日野松浦線で1.67の区間が存在し、両路線には主要渋滞ポイントが存在している。

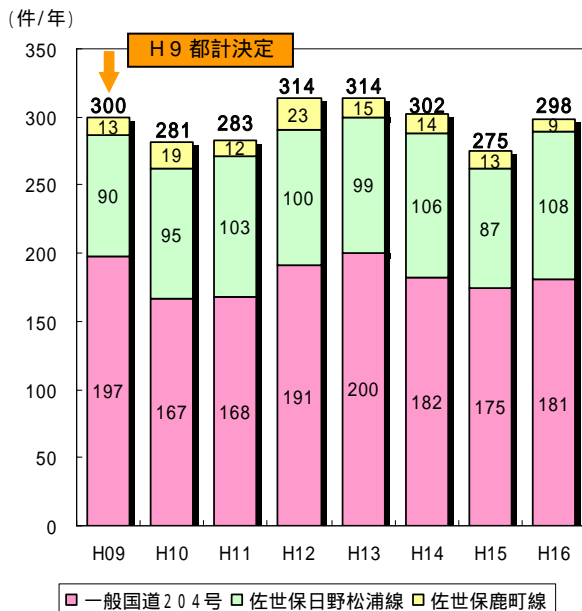
効果・必要性 3：走行安全性の確保

佐々佐世保道路整備により並行する現道の交通量が減少し、交通事故件数の102件（約1/3）削減が期待される（将来未整備302 将来整備後200件/年）



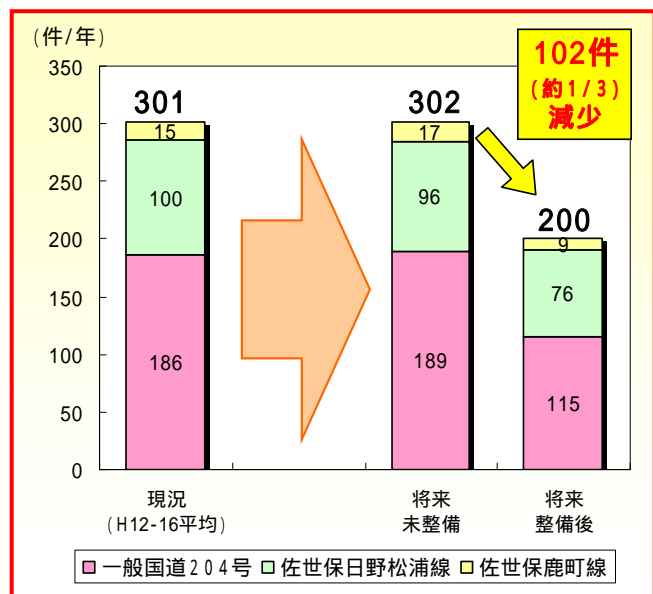
死傷事故率（H12～H16）

資料：事故マッチングデータ



佐々佐世保道路に並行する
現道の死傷事故件数の変化

資料：事故マッチングデータ



佐々佐世保道路整備による
並行する現道の死傷事故件数の変化

- ・ 佐々佐世保道路に並行する国道204号、(主)佐世保日野松浦線、及び(一)佐世保鹿町線で発生する死傷事故率は、全ての区間で長崎県平均を上回る。
- ・ また、長崎県平均2倍以上の死傷事故率が発生する区間も存在している。
- ・ 並行する現道では、年間約300件の交通事故が発生している。

効果・必要性 4：沿道環境の改善

佐々佐世保道路整備により交通分散が図られ、並行する現道の騒音環境基準の達成や沿道騒音の低減、CO₂排出量約2,500 t-CO₂/年削減（長崎水辺の森公園の約36倍の森林面積CO₂吸収量に相当）が図られ、沿道環境の改善が期待される。

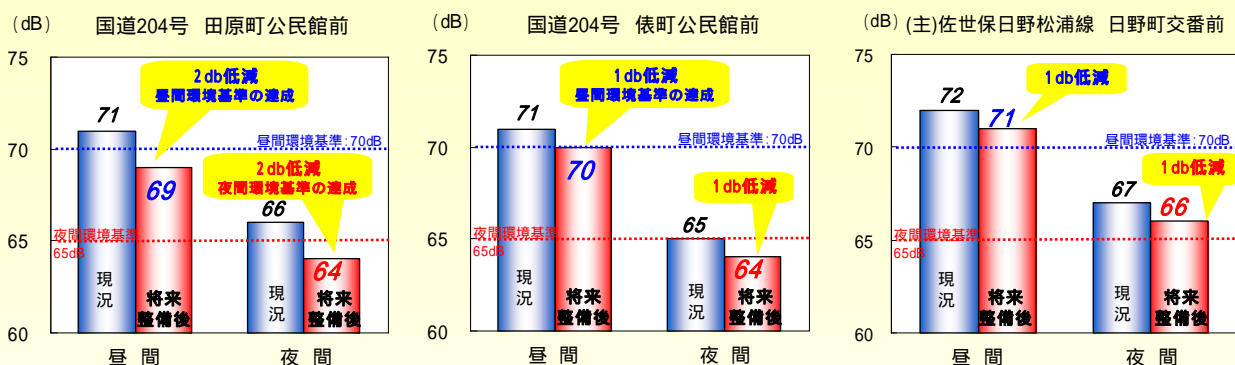


沿道騒音発生状況

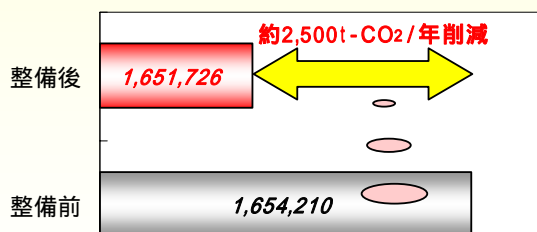


俵町交差点

並行する現道では沿道騒音が低減され、CO₂排出量が約2,500t-CO₂/年削減される



佐々佐世保道路整備による国道204号騒音値の変化



長崎水辺の森公園の
36倍の森林面積に相当



提供：長崎県長崎港湾漁港事務所

佐々佐世保道路整備によるCO₂排出量削減効果

・佐々佐世保道路に並行する国道204号及び(主)佐世保日野松浦線では、沿道騒音値が環境基準を超過する区間が存在している。

国道204号（田原町公民館前：昼間71db、夜間66db）

国道204号（俵町公民館前：昼間71db、夜間65db）

(主)佐世保日野松浦線（日野交番前：昼間72db、夜間67db）

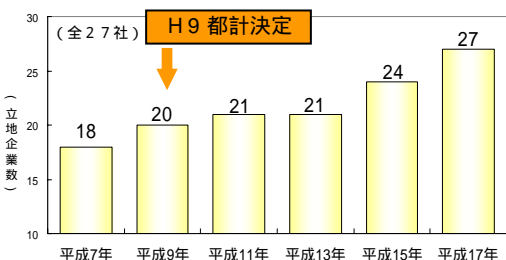
赤文字は環境基準値超過

効果・必要性 5：地域産業の支援

佐々佐世保道路整備による「搬送時間の短縮」や「搬送中の荷傷みの軽減」が図られることにより、地域産業の支援が期待される。

用地面積：217,000 m²(完売済)
 立地企業：22社
 食料品：2社(天然調味料、食品供給センター)
 製造業：10社(金網、電子機器類、
 コンクリート二次製品、電機機器等)
 サービス業：5社(リース業、LPガス・飲料
 水・建設機械販売等)
 運送業：1社
 その他：4社(コンサルタント・設計会社等)

用地面積：234,000 m²
 (分譲中面積：22,000 m²)
 立地企業：5社
 食料品：3社(天然調味料、漬け物
 生鮮野菜果物)
 製造業：2社(機械・通信用機械器具)



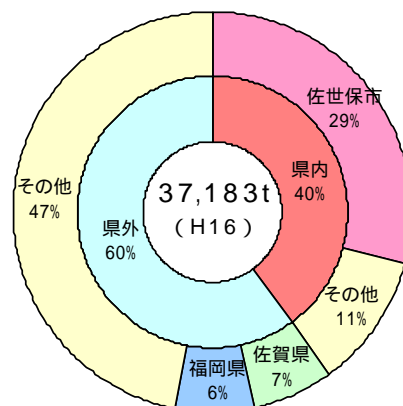
小佐々工業団地・佐々工業団地の立地企業数の推移 資料：佐世保市ほか

佐々・小佐々工業団地、佐世保市中央卸売市場（水産）

漁港	水揚量(t)	構成比
松浦	96,244	48%
長崎	60,208	30%
佐世保	37,183	18%
勝本	4,151	2%
田平	1,793	1%
西有家	138	0%
福江	1,772	1%
長崎県	201,489	100%

佐世保市中央卸売市場（水産）の長崎県内における取扱量

資料：H16水産物流通統計年報



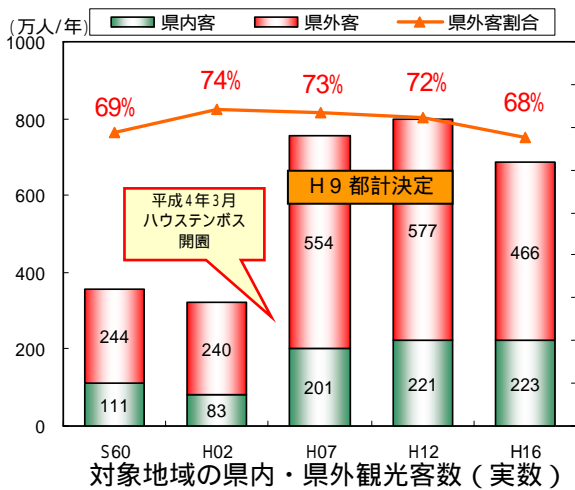
佐世保市中央卸売市場（水産）の地域別出荷先・出荷量割合

資料：佐世保市

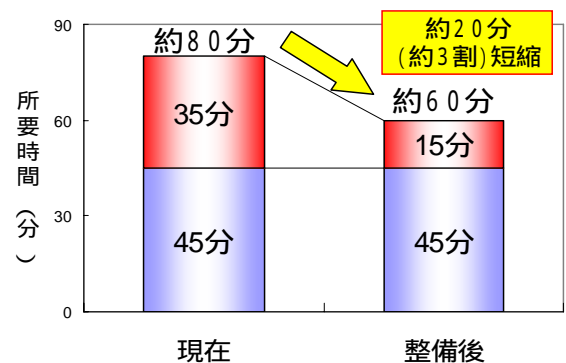
- ・佐々佐世保道路起点部周辺の佐々・小佐々工業団地には、主に天然調味料製造を行っている企業の第一・第二工場が立地しており、平成19年には新たに第三工場が稼働し、生産規模拡大が図られる予定である。
- ・現在、搬入搬出あわせ約60台/日のトラック出入があり、主な搬送先は関西関東方面となっている（佐賀県鳥栖市で、搬送品を仕分け）。第三工場稼働時には約90台/日のトラック利用が発生すると想定されている。
- ・佐々佐世保道路沿線には、佐世保市中央卸売場（水産部門）があり、松浦港、長崎港について県内で3番目に取扱量が多い港となっている。
- ・出荷先別の取扱量は長崎県内が4割となり、半数以上は県外へ出荷されている。県外への出荷については、関西関東方面（下記グラフ中「その他」）が主となっている。

効果・必要性 6 : 観光の支援

佐々佐世保道路整備による佐世保市との交流条件向上、さらには、西九州自動車道整備による佐賀県・福岡県との交流条件向上により、全国総合開発計画の国内交通体系整備長期構想「地域半日交通圏」の広域的な地域交通体系が形成され、更なる観光産業の発展が期待される。



資料：長崎県地域振興部観光課資料



佐世保道路・佐々佐世保道路の整備による時間短縮効果 (ハウステンボス～平戸市間)

- ・ 佐々佐世保道路沿線の佐世保市、松浦市、平戸市及び北松浦地域には、「日本最西端の海の国立公園 九十九島」や「年間100万人以上が訪れる西海パールシーリゾート」等を代表とする観光拠点多く存在している。
- ・ 対象地域の総観光客数のうち「約7割は県外客」となっており、広域的な観光交流圏が形成されている。
- ・ 佐々佐世保道路及び佐世保道路の一体的な整備により、ハウステンボス～平戸間が約20分短縮され、北松地域と佐世保地域の観光資源の連携が図られる。

佐々佐世保道路の早期供用に対する期待は大きい。

地元の声

現状では、10時の出荷便に間に合わない場合は翌日の出荷となり、価格が10～20%低下している。

西九州自動車道が整備されれば、この翌日回し分を減らすことができる。

<小佐々町漁業協同組合>

佐世保、田平、松浦の産地市場に出荷している。産地市場から消費市場(関西、関東)へはトラックによる輸送である。

西九州自動車道が整備されると到着時刻が早くなり、価格への上積みも期待できる。

<館浦漁業協同組合(生月)>

・佐世保市で高度な医療を受けることが可能となる。

・買い物に行きやすくなる。

・通勤時間が短縮される。

・佐賀県、福岡県への通勤が可能となる。またUターンも増加する。

・高速バスの整備により、都市部への交通の便が良くなって欲しい

<北松地域住民>

取引先への所要時間短縮や時間短縮によるコスト削減が図られる。

また、佐世保市以北(佐々町など)からのマイカー通勤者の通勤時間短縮が期待される。

佐世保道路、西九州道路全線の早期整備を望む。

<佐世保重工業株式会社>

佐世保市及び県北地域において漁業、農業の取引先が拡大され、売り上げ増加が期待される。

利便性向上により、佐世保市及び県北地域が活性化される。

西九州道路全線の、早期整備が期待される。

<佐世保市商工会議所>

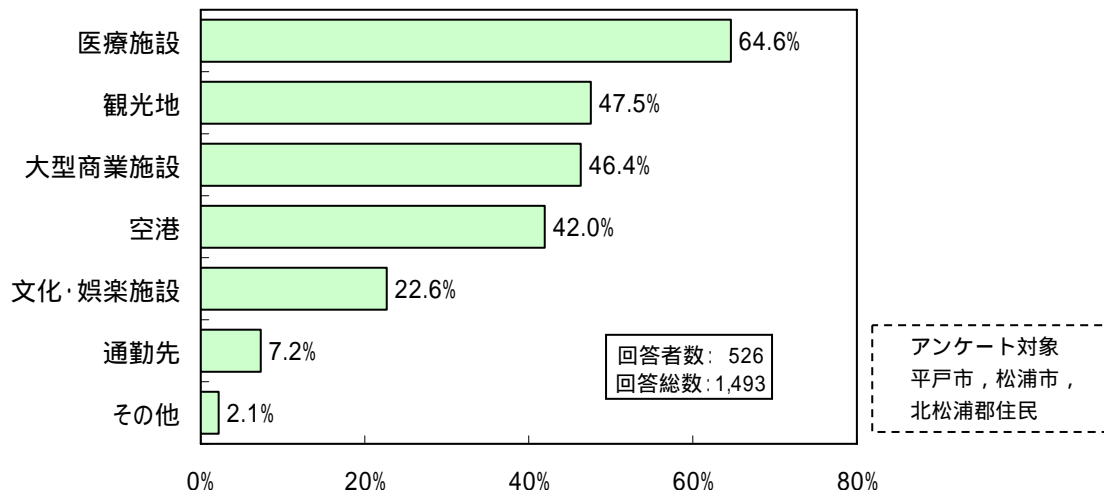
佐世保道路の全線供用はイメージアップに繋がり、観光客の増加を期待している。

佐世保市を含めた県北地域全体での観光コースが多様化する。

<佐世保市観光課>

沿線住民の期待

(西九州道整備により利用しやすくなると生活が便利になる施設)



- ・佐々佐世保道路については、過年度より関係自治体から積極的な整備促進要望がなされており、地域の協力体制としても「西九州自動車道建設促進期成会」をはじめ、多くの期成会や協議会が設立されている。
- ・地元住民、企業からも西九州自動車道の早期整備に対する声が多く寄せられており、地元の期待は非常に大きい。

2) 事業の投資効果

費用便益分析の結果（一般国道497号、佐々佐世保道路、L = 約9.0km）

事業の目的

佐々佐世保道路は、西九州自動車道を構成する一区間であり、長崎県北部の一般国道204号と並行に位置し、九州北西部の広域的な連携を図り、地域の活性化に大きく寄与するとともに、当該地域の時間短縮、渋滞緩和等を目的とする路線である。

費用便益分析結果

a) 全事業

便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成18年度			
供 用 年	平成22年度			
初年度便益	29億円	7億円	3億円	39億円
基準年における現 在 価 値 (B)	948億円	158億円	85億円	1,191億円

費用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成18年度		
単 純 合 計	518億円	91億円	609億円
基準年における現 在 価 値 (C)	463億円	40億円	503億円

評価指標の算定結果

費用便益比 (C B R)	$B / C = 2 . 4$
-----------------	-----------------

費用便益比算定の条件

- ・ 中里 I C ~ 佐世保 I C 間を平成21年度暫定供用
- ・ 佐々 I C ~ 中里 I C 間を平成22年度暫定供用
- ・ 佐々佐世保道路の全線暫定供用の10年後に完成供用

b) 残事業

便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成18年度			
供 用 年	平成22年度			
初年度便益	29億円	7億円	3億円	39億円
基準年における現 在 価 値 (B)	948億円	158億円	85億円	1,191億円

費用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成18年度		
単 純 合 計	330億円	91億円	421億円
基準年における現 在 価 値 (C)	263億円	40億円	302億円

評価指標の算定結果

費用便益比 (C B R)	B / C = 3 . 9
-----------------	---------------

費用便益比算定の条件

- ・ 中里 I C ~ 佐世保 I C 間を平成21年度暫定供用
- ・ 佐々 I C ~ 中里 I C 間を平成22年度暫定供用
- ・ 佐々佐世保道路の全線暫定供用の10年度に完成供用

3) 事業の進捗状況

事業の経緯

年度	事業実施項目
平成 2 年	基本計画決定
平成 5 年	事業化
平成 9 年	都市計画決定
平成 10 年	道路区域決定
平成 12 年	用地買収着手
平成 13 年	埋蔵文化財調査着手
平成 14 年	工事着手
平成 16 年	弓張トンネル工事着手
平成 17 年	都市計画決定(変更)



事業費の進捗状況

	全体事業費	H17年度未進捗	進捗率
全体事業費	541億円	149億円	28%
うち用地費	57億円	48億円	84%

4. 事業の進捗の見込み

1) 今後の事業の見通し

本道路の整備については、中里IC～佐世保IC間を平成21年度、佐々IC～中里IC間を平成22年度暫定供用（全線暫定供用）に向け用地買収及び工事を促進している。

平成17年度末までの事業進捗率は全体事業費の28%となっており、現在までに必要な関係機関との調整を行うとともに、地権者等への事業の必要性について理解が得られていることから、円滑な事業進捗が可能である。

2) 地域の協力体制

名称	主な構成メンバー	活動内容
西九州自動車道建設促進期成会 会長：唐津市長	福岡市、前原市、二丈町、志摩町、唐津市、伊万里市、武雄市、浜玉町、北波多村、七山村、厳木町、相知町、肥前町、玄海町、鎮西町、呼子町、有田町、西有田町、佐世保市、平戸市、松浦市、波佐見町、江迎町、鹿町町、佐々町	西九州自動車道の早期実現について、毎年国土交通省及び関係機関へ要望。 参考 H 8.10. 3 本省要望 H 9. 9. 2 地建要望 H10. 6.25 定期総会 H10. 8.18 地建要望 H11. 7. 2 定期総会 H11. 7.16 地建要望 H12. 6.30 定期総会 H12 .8. 1 事務所要望 H12. 8.17 本省要望 H13. 2. 9 地建要望 H13. 7.13 定期総会 H13. 8.29 地整要望 H13.11.13 本省要望 H14. 7.26 地整要望 H14.11.13 本省要望 H15. 7.13 地整要望 H15.10.23 事務所要望 H16. 2.17 地整要望 H16. 8.24 地整要望 H16.10.18 事務所要望 H17. 8.23 地整要望 H17.10. 7 事務所要望
西九州北部地域開発促進協議会 会長：伊万里市長	佐世保市、平戸市、松浦市、伊万里市、佐々町、江迎町、鹿町町、小値質町、有田町、西有田町、肥前町、波佐見町の首長及び議会議長	西九州自動車道の早期実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H 9.10.21 本省要望 H10.11.25 本省要望 H11.11.17 本省要望 H11.11.29 佐賀長崎知事要望 H12.11.14 本省要望 H12.11.19 本省要望 H12.11.20 佐賀知事要望 H13.11.19 佐賀知事要望 H13.11.29 本省要望 H14.11.18 佐賀知事要望 H14.11.21 本省要望 H15. 8.18 佐賀知事要望 H15. 9.30 本省要望
北松浦半島振興対策協議会 会長：平戸市長	平戸市、松浦市、鹿町町、伊万里市、佐世保市、江迎町、佐々町の首長及び議会議長	西九州自動車道の早期実現について、国土交通省及び関係機関へ要望 参考 H10.11.19 地建要望 H12.10.30 事務所要望 H14.10.23 地整要望 H15.12. 2 半島振興対策促進大会

名 称	主な構成メンバー	活動内容
長崎県西九州自動車道建設促進期成会 会長：長崎県知事	長崎県知事・議会議長、 関係市長・議会議長、行政機関役職員 商工会議所、農業・漁業組合、 中小企業団体首長、 町村会・議長会等会長	西九州自動車道の早期実現について、 総会の開催及び国土交通省へ要望 参考 H10. 6.22 定期総会 H11. 6.10 定期総会 H12. 5.26 定期総会 H13. 6.18 定期総会 H15. 8.19 地整要望
西九州自動車道建設推進協議会 会長：長崎県知事	長崎県、佐賀県、福岡県、福岡市の 首長及び役職員	西九州自動車道の早期実現について、 建設促進大会を開催 参考 H11.11. 9 建設促進大会
西九州自動車道等建設促進特別委員会(佐世保市議会) 会長：佐世保市長	佐世保市、市議会議員	西九州自動車道の早期実現について、 国土交通省及び関係機関へ要望。 参考 H13.11. 5 事務所要望 H13.11. 5 地整要望 H13.11. 6 本省要望 H14.10.30 地整要望 H14.11. 5 本省要望 H16.11.16 本省要望 H17.10.26 本省要望
平戸市議会西九州自動車道整備促進特別委員会 会長：平戸市議会議長	平戸市議会特別委員会	西九州自動車道の早期実現について、 国土交通省及び関係機関へ要望。 参考 H14. 2.19 地整要望 H14. 2.19 事務所要望 H15. 7.31 本省要望 H16. 7.29 地整要望 H16. 7.30 本省要望 H18. 1.26 本省要望
田平町議会	田平町長、田平町議会議長	西九州自動車道の早期実現について、 国土交通省へ要望 参考 H13.11. 6 本省要望

5. コスト縮減や代替え案立案等

1) コスト縮減

事業実施にあたっては、新技術・新工法の積極的活用、建設副産物対策により、着実なコスト低減を図るとともに、事業の時間的コストの低減に向け、計画的・重点的な整備により効率性の向上を図る。

縮減内容		縮減額(百万円)	縮減率(%)
新工法の採用	PCポスト+PCラーメンボックス 連続ダブルアーチ工法	138	0.26%
道路縦断及び 道路規格の見直し	第1種第2級 第1種第3級	5,555	10.27%
橋梁形式の変更など		618	1.14%
コスト縮減額 計		6,311	11.67%

全体事業費541億円に対する縮減割合

【新工法の採用 [真申川橋]

従来の 橋梁形式		PCポスト+ PCラーメンボックス
		事業費 : 1,805(百万円)
新工法による 橋梁形式		連続ダブルアーチ 工法
		事業費 : 1,667(百万円)
縮減額 : 138 (百万円)		

【道路縦断及び道路規格の見直し】

《 第1種 当初 第2級 》		事業費 : 41,907(百万円)
《 第1種 変更 第3級 》		事業費 : 36,352(百万円)
縮減額 : 5,555 (百万円)		

2) 代替案の立案

佐々佐世保道路は、地形条件、周辺地域からの利便性、「自然公園法」「文化財保護法」等の重要な自然環境の保全地区、「文化財保護法」に基づき指定された史跡・名勝・天然記念物、河川、JR等のコントロールポイント等を総合的に勘案して計画したものである。

現在、用地取得率が事業費ベースで84%を超えており、中里IC～佐世保IC間(L=5.0km)については平成21年度、佐々IC～中里IC間(L=4.0km)は平成22年度の供用を目標としていることから、今後も現計画で早期供用に向けて事業を促進することが最適である。

6. 対応方針(案)

〔事業継続〕

一般国道497号西九州自動車道の佐々佐世保道路については、事業を継続する。

佐々佐世保道路は、西九州自動車道の一区間を形成し、広域的な地域間の連携・交流を促進する道路であり、佐世保市周辺地域の交通混雑の緩和、地域の産業、経済発展に寄与する事業である。

また、走行安全性の確保、沿道環境の改善、観光の支援などの効果が期待されているところであり、佐世保市、佐々町をはじめ、周辺自治体から積極的な整備促進要望がなされている。また、沿線の地域住民も西九州自動車道整備に対する期待は大きい。

このため、引き続き佐々佐世保道路の全線の早期供用に向けて、事業を推進する。

なお、本道路を含む西九州自動車道については、その整備効果の早期発現等の観点から、事業の効率的促進を図るため、関係自治体と連携して、必要な調査・事業を促進する。

長崎新聞 平成16年11月22日(2面)

西九州道全線開通を

本県など3県が総決起大会

伊万里



西九州自動車道の事業推進に向け、3県で協力することなどを決議した総決起大会—佐賀県伊万里市民センター

【松浦】西九州自動車道全線開通を目指す西九州自動車道建設促進総決起大会が二十一日、佐賀県伊万里市の市民センターで開かれ、長崎、佐賀、福岡の三県が協力して事業推進に取り組むことなどを確認した。

同日、同自動車道建設促進期成会が事業推進に取り組み、地元の熱意をアピールしようと初めて開いた。同自動車道(百五十キロ)の供用区間は全体の約37%に当たる五十五キロ。未供用区間のうち佐世保、佐々間道路の一部で工事が着工されているほか、来年度供用開始の佐賀県の唐津道路(浜玉—唐津間、六・六キロ)は無料で通行できる高規格幹線道路として整備する。

金子知事や古川康佐賀県知事をはじめ約千人が参加。同自動車道建設促進三県国会議員懇話会会長の保利耕輔衆院議員は「沿線自治体や住民が集まり地元の熱意を結集できた。一日も早い完成を目指そう」とあいさつ。金子知事も「三県一体の取り組みは初めて。工事推進と財源確保に力を注ぐ」と強調。「長崎の発展は佐賀県にかかっている。西九州自動車道もそうだが、九州新幹線も合わせて協力を願いたい」と述べた。

高規格幹線道路の早期整備推進と道路特定財源を道路整備財源として堅持することなどを盛り込んだ大会決議を大瀬康政北松佐々町長が読み上げ、大会を締めくくった。

長崎新聞 平成18年 5月30日(24面)

全線開通へ協力を

県西九州道建設促進期成会総会 事業計画を承認

松浦



西九州道の早期完成を求め事業計画などを決めた建設促進期成会の総会—松浦シティホテル

【松浦】県西九州自動車道建設促進期成会(会)総会を開き、本年度の事業計画などを承認した。長・金子知事は二十九日、松浦市内のホテルで、起点に佐賀県唐津市から

松浦市、佐世保市を経由して佐賀県武雄市に至る総延長百五十キロの自動車専用道路。本県関係分では約七十三キロのうち約四十六キロがまだ供用されていない。

総会には、関係自治体の首長や本県選出の国会議員、県議、企業代表ら約百人が出席。田中裕司副知事が会長あいさつを代読し、「地域振興に重要な西九州道を一日も早く全線開通できるように協力していきたい」と述べた。

▽佐世保道路と佐々間世保道路の整備促進▽伊万里松浦道路の事業促進▽松浦—江迎—佐々間間の早期事業化—など五項目からなる決議案を採択。政府や国会に対する要望活動の強化や関係機関との連携強化を柱とした事業計画案を承認した。

卷 末 資 料

(客觀的評價指標)

客観的評価指標

政策目標		指 標			
大項目	中項目				
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 並行区間等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率 <ul style="list-style-type: none"> ● 並行区間等（当該区間）の渋滞損失時間：52.2万人・時間/年（国道204号） ● 並行区間等（当該区間）の渋滞損失削減率：約7割削減（国道204号） ■ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される ■ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる □ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる □ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる 			
		物流効率化の支援	<ul style="list-style-type: none"> □ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる ■ 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる 		
		都市の再生	<ul style="list-style-type: none"> □ 都市再生プロジェクトを支援する事業である □ 三大都市圏の環状道路を形成する □ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり 		
		国土・地域ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> □ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する □ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する □ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる 		
		個性ある地域の形成	<ul style="list-style-type: none"> □ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する ■ IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する □ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である 		
	2. 暮らし	安全で安心できる暮らしの確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 		
	3. 安全	安全な生活環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> □ 並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる 		
		災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> □ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり □ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する □ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する □ 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する 		
			4. 環境	地球環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 CO2排出削減量：2,500t/年 ● 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率 NO2排出削減率：4.3% ● 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率 SPM排出削減率：3.9% □ 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある □ その他、環境や景観上の効果が期待される
			5. その他	他のプロジェクトとの関係	<ul style="list-style-type: none"> □ 他機関との連携プログラムに位置づけられている
		その他	<ul style="list-style-type: none"> □ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される 		

●再評価時点における評価指標該当項目

1. について

- ・現道となる主要地方道佐佐保日野松浦線佐佐保市小島町132小島町交番前で平日の混雑時旅行速度が19.7km/h
- ・現道となる一般国道204号は、佐佐保市大塔方面や佐々町方面へ連絡するバス路線となっており走行性向上が期待される
- ・佐々保道路沿線は「とよのかいちご」の産地であり、流通の利便性向上が期待される
- ・主要な観光施設であるハウステンボスや西海パールシーリゾート等へのアクセス向上が期待される

2. について

- ・三次救急医療施設である大村市の「国立病院機構長崎医療センター」へのアクセス時間短縮が見込まれる

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B Pの別
一般国道497号	佐々佐世保道路	9.0 km	高規格 B	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
31,100	4	九州地方整備局

. 費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成18年		
単純合計	518 億円	91 億円	609 億円
うち残事業分	330 億円	91 億円	421 億円
基準年における 現在価値 (C)	463 億円	40 億円	503 億円
うち残事業分	263 億円	40 億円	302 億円

. 便益額

	走行時間短縮便益	走行費用短縮便益	交通事故減少便益	合計
基準年	平成18年			
供用年	平成22年			
初年便益	29 億円	7 億円	3 億円	39 億円
基準年における 現在価値 (B)	948 億円	158 億円	85 億円	1,191 億円
うち残事業分	948 億円	158 億円	85 億円	1,191 億円

. 費用便益比

費用便益比 (事業全体)	2.4
費用便益比 (残事業)	3.9

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しない場合がある。

費用便益額分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	整備主体
一般国道497号	佐々佐世保道路（全事業）	9.0 km	高規格 B	九州地方整備局

交通状況(推計時点 H42年)

トリップの平均像

		整備なし(A)	整備あり(B)	A - B
総トリップ数 (OD表による交通量)	トリップ	717,856	717,856	0
平均トリップ長 (総走行台キロ÷総トリップ数)	km	26.0	25.8	0.2
平均速度 (総走行台キロ÷総走行時間)	km/h	38.5	38.8	-0.3
平均走行時間 (総走行時間÷総トリップ数)	分	40.2	39.8	0.4
平均走行経費 (総走行経費÷総トリップ数)	円/トリップ	454.2	450.4	3.8

(注)総トリップ数は原則として、整備なしの場合と整備ありの場合で変化しない。

費用便益額分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	整備主体
一般国道497号	佐々佐世保道路（残事業）	9.0 km	高規格 B	九州地方整備局

交通状況(推計時点 H42年)

トリップの平均像

		整備なし(A)	整備あり(B)	A - B
総トリップ数 (OD表による交通量)	トリップ	717,856	717,856	0
平均トリップ長 (総走行台キロ÷総トリップ数)	km	26.0	25.8	0.2
平均速度 (総走行台キロ÷総走行時間)	km/h	38.5	38.8	-0.3
平均走行時間 (総走行時間÷総トリップ数)	分	40.2	39.8	0.4
平均走行経費 (総走行経費÷総トリップ数)	円/トリップ	454.2	450.4	3.8

(注)総トリップ数は原則として、整備なしの場合と整備ありの場合で変化しない。

費用便益額分析の条件

事業名：一般国道497号佐々佐世保道路

(2)

チェックリスト項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)		
	その他		
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成18年度	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	
		複数時点での推計	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	
		整備の有無のいずれかのみ推計	有 無
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	(H11センサ)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	
		その他()	
	開発交通量の考慮	無	
		有	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した内容理由を記載
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	
		転換率式を用いた配分	
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)			
簡易手法			
簡易手法の場合		小規模事業である	
		山間部海岸部で、並行道路が少ない	
その他()			
速度設定の考え方	今回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		
	異なる理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmax~Qmin)以下の路線が混在した配分結果となっているため、費用便益分析においては速度差の生じる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度		
	採用理由を記載		
その他()			

事業名：一般国道497号佐々佐世保道路

(3)

		チェックリスト項目	チェック欄	
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない		
		考慮する		
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	
			対象路線のみ考慮	
			採用した休日係数	() %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	交通流推計の 時点以外の 便益の算定	平成15年8月12日付け事務連絡に基づく設定		
	車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		
		独自に設定した値を使用		
		算出根拠を添付すること		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用			
	独自に設定した値を使用			
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮			
	中央分離帯の有無を考慮しない			
時間短縮・費用 減少事故減少以 外の便益	考慮しない			
	考慮する			
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				
費 用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用		
		標準投資パターンを採用		
		その他(事業費の投資期間年数分の按分設定)		
	維持管理費	費用便益分析マニュアルの値を使用		
		事務所等の実績値より設定		
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である。			
その他				
4. その他				
上記のほか、B/Cの算定にあたっての問題点があれば、記述。				

維持修繕費の単価の算出（消費税相当額含）

採用単価の根拠：一般国道（直轄）

単価（億円）	延長（km）	単価（億円）
0.27	9.0	2.43

費用の現在価値算定表【全事業】

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単価	現在価値	単価	現在価値
-17年目	H 5	1.6651	1.00	1.67		
-16年目	H 6	1.6010	1.00	1.60		
-15年目	H 7	1.5395	1.00	1.54		
-14年目	H 8	1.4802	1.00	1.48		
-13年目	H 9	1.4233	2.00	2.85		
-12年目	H 10	1.3686	2.90	3.97		
-11年目	H 11	1.3159	4.10	5.40		
-10年目	H 12	1.2653	5.90	7.47		
-9年目	H 13	1.2167	20.20	24.58		
-8年目	H 14	1.1699	25.30	29.60		
-7年目	H 15	1.1249	15.70	17.66		
-6年目	H 16	1.0816	37.90	40.99		
-5年目	H 17	1.0400	26.60	27.66		
-4年目	H 18	1.0000	44.00	44.00		
-3年目	H 19	0.9615	60.50	58.17		
-2年目	H 20	0.9246	60.50	55.94		
-1年目	H 21	0.8890	60.60	53.87		
供用開始年次	H 22	0.8548	19.40	16.58	1.29	1.10
1年目	H 23	0.8219			2.31	1.90
2年目	H 24	0.7903			2.31	1.83
3年目	H 25	0.7599			2.31	1.76
4年目	H 26	0.7307			2.31	1.69
5年目	H 27	0.7026			2.31	1.62
6年目	H 28	0.6756			2.31	1.56
7年目	H 29	0.6496	32.10	20.85	2.31	1.50
8年目	H 30	0.6246	32.10	20.05	2.31	1.44
9年目	H 31	0.6006	32.10	19.28	2.31	1.39
10年目	H 32	0.5775	32.20	18.60	2.31	1.33
11年目	H 33	0.5553			2.31	1.28
12年目	H 34	0.5339			2.31	1.23
13年目	H 35	0.5134			2.31	1.19
14年目	H 36	0.4936			2.31	1.14
15年目	H 37	0.4746			2.31	1.10
16年目	H 38	0.4564			2.31	1.05
17年目	H 39	0.4388			2.31	1.01
18年目	H 40	0.4220			2.31	0.97
19年目	H 41	0.4057			2.31	0.94
20年目	H 42	0.3901			2.31	0.90
21年目	H 43	0.3751			2.31	0.87
22年目	H 44	0.3607			2.31	0.83
23年目	H 45	0.3468			2.31	0.80
24年目	H 46	0.3335			2.31	0.77
25年目	H 47	0.3207			2.31	0.74
26年目	H 48	0.3083			2.31	0.71
27年目	H 49	0.2965			2.31	0.68
28年目	H 50	0.2851			2.31	0.66
29年目	H 51	0.2741			2.31	0.63
30年目	H 52	0.2636			2.31	0.61
31年目	H 53	0.2534			2.31	0.59
32年目	H 54	0.2437			2.31	0.56
33年目	H 55	0.2343			2.31	0.54
34年目	H 56	0.2253			2.31	0.52
35年目	H 57	0.2166			2.31	0.50
36年目	H 58	0.2083			2.31	0.48
37年目	H 59	0.2003			2.31	0.46
38年目	H 60	0.1926			2.31	0.44
39年目	H 61	0.1852	-56.80	-10.52	2.31	0.43
合計			461.30	463.28	91.38	39.75

単純事業費計	518.10	91.38
--------	--------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本として設定。

便益の現在価値算定表 【全事業】

箇所名: 佐々佐世保道路

年次	度	総走行台数の年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間便益(億円)						走行経費便益(億円)						事故損出費用(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全 車		乗用車	バ ス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バ ス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A)×	現在価値 ×(A)	費用合計 (-)	現在価値 割引率4%	
供用開始年次	H 22	1.00781	0.99865	1.00515	0.8548	14.88	4.26	6.52	3.52	29.18	24.94	2.66	0.40	2.56	1.18	6.80	5.81	2.98	2.55	38.96	33.30
1年目	H 23	1.00775	0.99865	1.00512	0.8219	20.21	5.24	8.61	4.78	38.84	31.92	3.04	0.42	2.93	1.42	7.81	6.42	4.05	3.33	50.70	41.67
2年目	H 24	1.00769	0.99865	1.00510	0.7903	20.37	5.28	8.60	4.77	39.02	30.84	3.06	0.42	2.93	1.42	7.83	6.19	4.07	3.22	50.92	40.25
3年目	H 25	1.00763	0.99865	1.00507	0.7599	20.53	5.32	8.59	4.76	39.20	29.79	3.08	0.42	2.93	1.42	7.85	5.97	4.09	3.11	51.14	38.87
4年目	H 26	1.00757	0.99865	1.00504	0.7307	20.69	5.36	8.58	4.75	39.38	28.77	3.10	0.42	2.93	1.42	7.87	5.75	4.11	3.00	51.36	37.52
5年目	H 27	1.00751	0.99865	1.00502	0.7026	20.85	5.40	8.57	4.74	39.56	27.79	3.12	0.42	2.93	1.42	7.89	5.54	4.13	2.90	51.58	36.23
6年目	H 28	1.00746	0.99864	1.00499	0.6756	21.01	5.44	8.56	4.73	39.74	26.85	3.14	0.42	2.93	1.42	7.91	5.34	4.15	2.80	51.80	34.99
7年目	H 29	1.00740	0.99864	1.00497	0.6496	21.17	5.48	8.55	4.72	39.92	25.93	3.16	0.42	2.93	1.42	7.93	5.15	4.17	2.71	52.02	33.79
8年目	H 30	1.00735	0.99864	1.00494	0.6246	21.33	5.52	8.54	4.71	40.10	25.05	3.18	0.42	2.93	1.42	7.95	4.97	4.19	2.62	52.24	32.64
9年目	H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.6006	21.49	5.56	8.53	4.70	40.28	24.19	3.20	0.42	2.93	1.42	7.97	4.79	4.21	2.53	52.46	31.51
10年目	H 32	1.00157	0.99595	1.00004	0.5775	21.65	5.60	8.52	4.69	40.46	23.37	3.22	0.42	2.93	1.42	7.99	4.61	4.23	2.44	52.68	30.42
11年目	H 33	1.00157	0.99594	1.00004	0.5553	35.58	9.87	14.10	7.75	67.30	37.37	4.12	0.60	3.83	1.72	10.27	5.70	5.54	3.08	83.11	46.15
12年目	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	0.5339	35.64	9.89	14.04	7.72	67.29	35.93	4.13	0.60	3.81	1.71	10.25	5.47	5.54	2.96	83.08	44.36
13年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.5134	35.70	9.91	13.98	7.69	67.28	34.54	4.14	0.60	3.79	1.70	10.23	5.25	5.54	2.84	83.05	42.63
14年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4936	35.76	9.93	13.92	7.66	67.27	33.20	4.15	0.60	3.77	1.69	10.21	5.04	5.54	2.73	83.02	40.97
15年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4746	35.82	9.95	13.86	7.63	67.26	31.92	4.16	0.60	3.75	1.68	10.19	4.84	5.54	2.63	82.99	39.39
16年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4564	35.88	9.97	13.80	7.60	67.25	30.69	4.17	0.60	3.73	1.67	10.17	4.64	5.54	2.53	82.96	37.86
17年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4388	35.94	9.99	13.74	7.57	67.24	29.50	4.18	0.60	3.71	1.66	10.15	4.45	5.54	2.43	82.93	36.38
18年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.4220	36.00	10.01	13.68	7.54	67.23	28.37	4.19	0.60	3.69	1.65	10.13	4.27	5.54	2.34	82.90	34.98
19年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.4057	36.06	10.03	13.62	7.51	67.22	27.27	4.20	0.60	3.67	1.64	10.11	4.10	5.54	2.25	82.87	33.62
20年目	H 42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3901	36.12	10.05	13.56	7.48	67.21	26.22	4.21	0.60	3.65	1.63	10.09	3.94	5.54	2.16	82.84	32.32
21年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3751	36.01	10.02	13.49	7.44	66.96	25.12	4.20	0.60	3.63	1.62	10.05	3.77	5.52	2.07	82.53	30.96
22年目	H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3607	35.90	9.99	13.42	7.40	66.71	24.06	4.19	0.60	3.61	1.61	10.01	3.61	5.50	1.98	82.22	29.65
23年目	H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3468	35.79	9.96	13.35	7.36	66.46	23.05	4.18	0.60	3.59	1.60	9.97	3.46	5.48	1.90	81.91	28.41
24年目	H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3335	35.68	9.93	13.28	7.32	66.21	22.08	4.17	0.60	3.57	1.59	9.93	3.31	5.46	1.82	81.60	27.21
25年目	H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.3207	35.57	9.90	13.21	7.28	65.96	21.15	4.16	0.60	3.55	1.58	9.89	3.17	5.44	1.74	81.29	26.06
26年目	H 48	0.99684	0.99455	0.99625	0.3083	35.46	9.87	13.14	7.24	65.71	20.26	4.15	0.60	3.53	1.57	9.85	3.04	5.42	1.67	80.98	24.97
27年目	H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2965	35.35	9.84	13.07	7.20	65.46	19.41	4.14	0.60	3.51	1.56	9.81	2.91	5.40	1.60	80.67	23.92
28年目	H 50	0.99682	0.99449	0.99622	0.2851	35.24	9.81	13.00	7.16	65.21	18.59	4.13	0.60	3.49	1.55	9.77	2.79	5.38	1.53	80.36	22.91
29年目	H 51	0.99681	0.99446	0.99621	0.2741	35.13	9.78	12.93	7.12	64.96	17.81	4.12	0.60	3.47	1.54	9.73	2.67	5.36	1.47	80.05	21.95
30年目	H 52	0.99634	0.99695	0.99650	0.2636	35.02	9.75	12.86	7.08	64.71	17.06	4.11	0.60	3.45	1.53	9.69	2.55	5.34	1.41	79.74	21.02
31年目	H 53	0.99632	0.99695	0.99648	0.2534	34.89	9.71	12.82	7.06	64.48	16.34	4.09	0.60	3.44	1.53	9.66	2.45	5.32	1.35	79.46	20.14
32年目	H 54	0.99631	0.99694	0.99647	0.2437	34.76	9.67	12.78	7.04	64.25	15.66	4.07	0.60	3.43	1.53	9.63	2.35	5.30	1.29	79.18	19.30
33年目	H 55	0.99630	0.99693	0.99646	0.2343	34.63	9.63	12.74	7.02	64.02	15.00	4.05	0.60	3.42	1.53	9.60	2.25	5.28	1.24	78.90	18.49
34年目	H 56	0.99628	0.99692	0.99645	0.2253	34.50	9.59	12.70	7.00	63.79	14.37	4.04	0.60	3.41	1.53	9.58	2.16	5.26	1.19	78.63	17.72
35年目	H 57	0.99627	0.99691	0.99643	0.2166	34.37	9.55	12.66	6.98	63.56	13.77	4.02	0.60	3.40	1.53	9.55	2.07	5.24	1.13	78.35	16.97
36年目	H 58	0.99625	0.99690	0.99642	0.2083	34.24	9.51	12.62	6.96	63.33	13.19	4.01	0.60	3.39	1.53	9.53	1.99	5.22	1.09	78.08	16.27
37年目	H 59	0.99624	0.99689	0.99641	0.2003	34.11	9.47	12.58	6.94	63.10	12.64	3.99	0.60	3.38	1.53	9.50	1.90	5.20	1.04	77.80	15.58
38年目	H 60	0.99623	0.99688	0.99639	0.1926	33.98	9.43	12.54	6.92	62.87	12.11	3.97	0.60	3.37	1.53	9.47	1.82	5.18	1.00	77.52	14.93
39年目	H 61	0.99621	0.99687	0.99638	0.1852	33.85	9.39	12.50	6.90	62.64	11.60	3.96	0.60	3.36	1.53	9.45	1.75	5.16	0.96	77.25	14.31
合 計 (H22 - H61)						1,247.16	342.86	476.16	262.44	2,328.62	947.72	153.36	22.00	135.26	61.65	372.27	158.26	201.24	84.64	2,902.13	1,190.62

維持修繕費の単純単価の算出（消費税相当額含）

採用単価の根拠：一般国道（直轄）

単価（億円）	延長（km）	単純単価（億円）
0.27	9.0	2.43

費用の現在価値算定表【残事業】

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-17年目	H 5	1.6651				
-16年目	H 6	1.6010				
-15年目	H 7	1.5395				
-14年目	H 8	1.4802				
-13年目	H 9	1.4233				
-12年目	H 10	1.3686				
-11年目	H 11	1.3159				
-10年目	H 12	1.2653				
-9年目	H 13	1.2167				
-8年目	H 14	1.1699				
-7年目	H 15	1.1249				
-6年目	H 16	1.0816				
-5年目	H 17	1.0400				
-4年目	H 18	1.0000				
-3年目	H 19	0.9615	60.50	58.17		
-2年目	H 20	0.9246	60.50	55.94		
-1年目	H 21	0.8890	60.60	53.87		
供用開始年次	H 22	0.8548	19.40	16.58	1.29	1.10
1年目	H 23	0.8219			2.31	1.90
2年目	H 24	0.7903			2.31	1.83
3年目	H 25	0.7599			2.31	1.76
4年目	H 26	0.7307			2.31	1.69
5年目	H 27	0.7026			2.31	1.62
6年目	H 28	0.6756			2.31	1.56
7年目	H 29	0.6496	32.10	20.85	2.31	1.50
8年目	H 30	0.6246	32.10	20.05	2.31	1.44
9年目	H 31	0.6006	32.10	19.28	2.31	1.39
10年目	H 32	0.5775	32.20	18.60	2.31	1.33
11年目	H 33	0.5553			2.31	1.28
12年目	H 34	0.5339			2.31	1.23
13年目	H 35	0.5134			2.31	1.19
14年目	H 36	0.4936			2.31	1.14
15年目	H 37	0.4746			2.31	1.10
16年目	H 38	0.4564			2.31	1.05
17年目	H 39	0.4388			2.31	1.01
18年目	H 40	0.4220			2.31	0.97
19年目	H 41	0.4057			2.31	0.94
20年目	H 42	0.3901			2.31	0.90
21年目	H 43	0.3751			2.31	0.87
22年目	H 44	0.3607			2.31	0.83
23年目	H 45	0.3468			2.31	0.80
24年目	H 46	0.3335			2.31	0.77
25年目	H 47	0.3207			2.31	0.74
26年目	H 48	0.3083			2.31	0.71
27年目	H 49	0.2965			2.31	0.68
28年目	H 50	0.2851			2.31	0.66
29年目	H 51	0.2741			2.31	0.63
30年目	H 52	0.2636			2.31	0.61
31年目	H 53	0.2534			2.31	0.59
32年目	H 54	0.2437			2.31	0.56
33年目	H 55	0.2343			2.31	0.54
34年目	H 56	0.2253			2.31	0.52
35年目	H 57	0.2166			2.31	0.50
36年目	H 58	0.2083			2.31	0.48
37年目	H 59	0.2003			2.31	0.46
38年目	H 60	0.1926			2.31	0.44
39年目	H 61	0.1852	-4.40	-0.81	2.31	0.43
合計			325.10	262.53	91.38	39.75
単純事業費計			329.50		91.38	

- 注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)
- 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。
- 注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本として設定。

便益の現在価値算定表 [残事業]

箇所名: 佐々世保道路

年次	度	総走行台数の年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間便益(億円)						走行経費便益(億円)						事故損出費用(億円)		合計 (億円)	
		乗用車	貨物車	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A) ×	現在価値 ×(A)	費用合計 (~)	現在価値 割引率4%	
		乗用車	貨物車	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A) ×	現在価値 ×(A)	費用合計 (~)	現在価値 割引率4%	
供用開始年次	H 22	1.00781	0.99865	1.00515	0.8548	14.88	4.26	6.52	3.52	29.18	24.94	2.66	0.40	2.56	1.18	6.80	5.81	2.98	2.55	38.96	33.30
1年目	H 23	1.00775	0.99865	1.00512	0.8219	20.21	5.24	8.61	4.78	38.84	31.92	3.04	0.42	2.93	1.42	7.81	6.42	4.05	3.33	50.70	41.67
2年目	H 24	1.00769	0.99865	1.00510	0.7903	20.37	5.28	8.60	4.77	39.02	30.84	3.06	0.42	2.93	1.42	7.83	6.19	4.07	3.22	50.92	40.25
3年目	H 25	1.00763	0.99865	1.00507	0.7599	20.53	5.32	8.59	4.76	39.20	29.79	3.08	0.42	2.93	1.42	7.85	5.97	4.09	3.11	51.14	38.87
4年目	H 26	1.00757	0.99865	1.00504	0.7307	20.69	5.36	8.58	4.75	39.38	28.77	3.10	0.42	2.93	1.42	7.87	5.75	4.11	3.00	51.36	37.52
5年目	H 27	1.00751	0.99865	1.00502	0.7026	20.85	5.40	8.57	4.74	39.56	27.79	3.12	0.42	2.93	1.42	7.89	5.54	4.13	2.90	51.58	36.23
6年目	H 28	1.00746	0.99864	1.00499	0.6756	21.01	5.44	8.56	4.73	39.74	26.85	3.14	0.42	2.93	1.42	7.91	5.34	4.15	2.80	51.80	34.99
7年目	H 29	1.00740	0.99864	1.00497	0.6496	21.17	5.48	8.55	4.72	39.92	25.93	3.16	0.42	2.93	1.42	7.93	5.15	4.17	2.71	52.02	33.79
8年目	H 30	1.00735	0.99864	1.00494	0.6246	21.33	5.52	8.54	4.71	40.10	25.05	3.18	0.42	2.93	1.42	7.95	4.97	4.19	2.62	52.24	32.64
9年目	H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.6006	21.49	5.56	8.53	4.70	40.28	24.19	3.20	0.42	2.93	1.42	7.97	4.79	4.21	2.53	52.46	31.51
10年目	H 32	1.00157	0.99595	1.00004	0.5775	21.65	5.60	8.52	4.69	40.46	23.37	3.22	0.42	2.93	1.42	7.99	4.61	4.23	2.44	52.68	30.42
11年目	H 33	1.00157	0.99594	1.00004	0.5553	35.58	9.87	14.10	7.75	67.30	37.37	4.12	0.60	3.83	1.72	10.27	5.70	5.54	3.08	83.11	46.15
12年目	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	0.5339	35.64	9.89	14.04	7.72	67.29	36.93	4.13	0.60	3.81	1.71	10.25	5.47	5.54	2.96	83.08	44.36
13年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.5134	35.70	9.91	13.98	7.69	67.28	34.54	4.14	0.60	3.79	1.70	10.23	5.25	5.54	2.84	83.05	42.63
14年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4936	35.76	9.93	13.92	7.66	67.27	33.20	4.15	0.60	3.77	1.69	10.21	5.04	5.54	2.73	83.02	40.97
15年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4746	35.82	9.95	13.86	7.63	67.26	31.92	4.16	0.60	3.75	1.68	10.19	4.84	5.54	2.63	82.99	39.39
16年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4564	35.88	9.97	13.80	7.60	67.25	30.69	4.17	0.60	3.73	1.67	10.17	4.64	5.54	2.53	82.96	37.86
17年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4388	35.94	9.99	13.74	7.57	67.24	29.50	4.18	0.60	3.71	1.66	10.15	4.45	5.54	2.43	82.93	36.38
18年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.4220	36.00	10.01	13.68	7.54	67.23	28.37	4.19	0.60	3.69	1.65	10.13	4.27	5.54	2.34	82.90	34.98
19年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.4057	36.06	10.03	13.62	7.51	67.22	27.27	4.20	0.60	3.67	1.64	10.11	4.10	5.54	2.25	82.87	33.62
20年目	H 42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3901	36.12	10.05	13.56	7.48	67.21	26.22	4.21	0.60	3.65	1.63	10.09	3.94	5.54	2.16	82.84	32.32
21年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3751	36.01	10.02	13.49	7.44	66.96	25.12	4.20	0.60	3.63	1.62	10.05	3.77	5.52	2.07	82.53	30.96
22年目	H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3607	35.90	9.99	13.42	7.40	66.71	24.06	4.19	0.60	3.61	1.61	10.01	3.61	5.50	1.98	82.22	29.65
23年目	H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3468	35.79	9.96	13.35	7.36	66.46	23.05	4.18	0.60	3.59	1.60	9.97	3.46	5.48	1.90	81.91	28.41
24年目	H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3335	35.68	9.93	13.28	7.32	66.21	22.08	4.17	0.60	3.57	1.59	9.93	3.31	5.46	1.82	81.60	27.21
25年目	H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.3207	35.57	9.90	13.21	7.28	65.96	21.15	4.16	0.60	3.55	1.58	9.89	3.17	5.44	1.74	81.29	26.06
26年目	H 48	0.99684	0.99455	0.99625	0.3083	35.46	9.87	13.14	7.24	65.71	20.26	4.15	0.60	3.53	1.57	9.85	3.04	5.42	1.67	80.98	24.97
27年目	H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2965	35.35	9.84	13.07	7.20	65.46	19.41	4.14	0.60	3.51	1.56	9.81	2.91	5.40	1.60	80.67	23.92
28年目	H 50	0.99682	0.99449	0.99622	0.2851	35.24	9.81	13.00	7.16	65.21	18.59	4.13	0.60	3.49	1.55	9.77	2.79	5.38	1.53	80.36	22.91
29年目	H 51	0.99681	0.99446	0.99621	0.2741	35.13	9.78	12.93	7.12	64.96	17.81	4.12	0.60	3.47	1.54	9.73	2.67	5.36	1.47	80.05	21.95
30年目	H 52	0.99634	0.99695	0.99650	0.2636	35.02	9.75	12.86	7.08	64.71	17.06	4.11	0.60	3.45	1.53	9.69	2.55	5.34	1.41	79.74	21.02
31年目	H 53	0.99632	0.99695	0.99648	0.2534	34.89	9.71	12.82	7.06	64.48	16.34	4.09	0.60	3.44	1.53	9.66	2.45	5.32	1.35	79.46	20.14
32年目	H 54	0.99631	0.99694	0.99647	0.2437	34.76	9.67	12.78	7.04	64.25	15.66	4.07	0.60	3.43	1.53	9.63	2.35	5.30	1.29	79.18	19.30
33年目	H 55	0.99630	0.99693	0.99646	0.2343	34.63	9.63	12.74	7.02	64.02	15.00	4.05	0.60	3.42	1.53	9.60	2.25	5.28	1.24	78.90	18.49
34年目	H 56	0.99628	0.99692	0.99645	0.2253	34.50	9.59	12.70	7.00	63.79	14.37	4.04	0.60	3.41	1.53	9.58	2.16	5.26	1.19	78.63	17.72
35年目	H 57	0.99627	0.99691	0.99643	0.2166	34.37	9.55	12.66	6.98	63.56	13.77	4.02	0.60	3.40	1.53	9.55	2.07	5.24	1.13	78.35	16.97
36年目	H 58	0.99625	0.99690	0.99642	0.2083	34.24	9.51	12.62	6.96	63.33	13.19	4.01	0.60	3.39	1.53	9.53	1.99	5.22	1.09	78.08	16.27
37年目	H 59	0.99624	0.99689	0.99641	0.2003	34.11	9.47	12.58	6.94	63.10	12.64	3.99	0.60	3.38	1.53	9.50	1.90	5.20	1.04	77.80	15.58
38年目	H 60	0.99623	0.99688	0.99639	0.1926	33.98	9.43	12.54	6.92	62.87	12.11	3.97	0.60	3.37	1.53	9.47	1.82	5.18	1.00	77.52	14.93
39年目	H 61	0.99621	0.99687	0.99638	0.1852	33.85	9.39	12.50	6.90	62.64	11.60	3.96	0.60	3.36	1.53	9.45	1.75	5.16	0.96	77.25	14.31
合計 (H22～H61)						1,247.16	342.86	476.16	262.44	2,328.62	947.72	153.36	22.00	135.26	61.65	372.27	158.26	201.24	84.64	2,902.13	1,190.62